

福山平成大学の教育情報

【1】大学の教育研究上の目的 ＜各学科、研究科、専攻別＞	1
【2】教育研究上の基本組織 ＜基本組織＞＜学生数(退学・留年・就職・卒業)＞＜教育組織の運営＞	4
【3】教員数(学科別数・年齢別数・教員一覧・科学研究費応募状況)	9
【4】入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、 卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況 ＜受入方針＞＜就職及び進学の状況(就職指導体制、就職状況、就職先、各種の資格)＞	1 5
【5】授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画 ＜教育課程の編成方針＞	2 4
【6】学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準	5 6
【7】校地、校舎等の施設及び設備その他教育研究環境に関すること	5 9
【8】授業料、入学料等(初年度分)	6 4
【9】大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援	6 5
【10】沿革	6 8
【11】産学官連携、社会貢献活動(公開講座)、大学連携、高大連携等	7 0

福山平成大学の教育情報

【1】大学の教育研究上の目的

本学は広島県東部に位置し福山市など近隣市町村等の協力を得て「公私協力方式」により設立された大学である。このため、本学は福山市を中心とした備後地域の発展に貢献する人材育成を第一の目的としている。

また、多種多様・多岐にわたる社会からの要請に対応し、本学の教育理念として、“建学の精神”や“大学の基本理念”は、“全人教育”、“心情と愛の教育”、“人間と自然を尊ぶ教育”及び“知行合一の教育”の4つに定められており、その理念は各学部各学科の教育方針に色濃く反映されている。

① 経営学部・経営学科

経営学部・経営学科は、“建学の精神”及び学則に定めるところに基づき、社会性を身につけた豊かで調和のある人間性を養い、経営学諸分野の高度な専門的知識と技術を習得し、産業経済界で活躍できる実践的な人材を育成するとともに、これに関連する教育研究を行うことを目的とする。

経営学科では“建学の精神”である全人格陶冶とともに、必要な経営学関係の専門知識だけではなく、経営における的確な状況判断能力や意思決定能力を身につけ、地域社会の発展に貢献できる即戦力としての“ビジネスパーソン”及び“産業人”を育成することを目標に、実学重視の教育を行っている。

② 福祉健康学部・福祉学科

福祉学科は、“建学の精神”及び学則の定めるところに基づき、福祉に関する専門知識と技術を習得し、すべての人々の幸福に貢献できる人材を育成するとともに、これに関連する教育研究を行うことを目的としている。このため教育課程は、社会福祉コースと介護福祉コースの2コースで展開され、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、そして保育士資格等を取得させることを目標とする。また、両コースに配当された科目や教育環境を相互に活用したり、両コース間の学生交流を通して、社会福祉領域に関する多様で総合的な学びを可能にする工夫が行われている。このような教育課程を通して、子どもから高齢者、障がい者等すべての人々の健やかな生活を目指す人間福利（“ウェルビーイング（well-being）”）の理念に則り、豊かな人間性と総合実践力を備えた人材を輩出し、地域貢献を行っている。このような人材育成に役立つ学生支援システムとして、大学と地域の社会福祉関係者等が連携して、実習教育やボランティア活動を行う体制を整えている。福祉の専門家として、福祉に関する“制度”とそこに“生きる人間”という複眼的で温かい視野を持つ人材養成にも積極的に取り組んでいる。

③ 福祉健康学部・こども学科

こども学科は、“建学の精神”及び学則の定めるところに基づき、乳児から児童までの子どもに対して一貫して支援・教育を行うことのできる保育士、幼稚園教諭、小学校教諭を養成することを目的としている。

教育課程は、保育士資格及び幼稚園教諭一種免許状・小学校教諭一種免許状を取得できるように構成されている。理論と実践の両面から学びを深めるため、1,2年次で体験的学修を行い、3年次で保育実習、幼稚園教育実習、小学校教育実習、4年次における2度目の保育実習から総仕上げとしての教職実践演習へと段階的な学びを設定している。無理なく実践力を高めるとともに、4年間を通して大学で学ぶ理論・技術

が実践の場でどのように活かされるのかを体得できるよう工夫されている。また、子どもの感性と創造力を育む音楽や図画工作、言葉の教育、体育などの表現教育にも力点を置いており、特にピアノ教育においては、入学前から始まり、4年間を通して習熟度に合わせたピアノ教育を行っている。

④ 福祉健康学部・健康スポーツ科学科

健康スポーツ科学科は、“建学の精神”及び学則の定めるところに基づき、身体活動を介した健康やスポーツを体系的に深く理解するとともに、健康、スポーツ、教育に関する専門知識と技術を習得し、すべての人々の健康増進及びスポーツ振興の担い手として寄与しうる豊かな人間性と総合的实践力を備えた人材を育成することを目的としている。

このため、教育課程は、スポーツに関する医科学系、健康科学系、心理学系、社会学系、教育学系、コーチング系などの分野の知識を系統的に広く学習する。また、学んだ知識の定着及び実践による確認の意味を含め、スポーツ実技や演習の教科を数多く開講し充実させている。開設当初は、中・高齢者を対象に健康の維持・増進を目的とする学科として出発したが、平成 17（2005）年には中学校・高等学校教諭（保健体育）の教員免許が、また平成 19（2007）年には養護教諭の教員免許が取得できるようになり、これに伴って、従来の教育カリキュラムに加え、教育実践指導力の拡充のための実技や実習、さらには演習形式による授業の強化が図られた。平成 21（2009）年には、学科に所属する教員で構成される大学院スポーツ健康科学研究科が設置されることとなり、学科の教育課程を引き継ぎ、継続して高度な職業人を育成することが可能となっている。

⑤ 看護学部・看護学科

看護学部看護学科は、“建学の精神”及び学則の定めるところに基づき、生命の尊重を基本理念とし、豊かな人間性と倫理観に裏付けられた感性を持ち、保健、医療及び看護に関する高度な専門的知識と技術を習得し、すべての人々の健康増進及び社会福祉に貢献することができる人材を育成するとともに、これに関連する教育研究を行うことを目的とする。

このため、教育課程は、高い倫理観に裏付けされた感性をもち人間と環境を愛し、看護学の発展、国民の健康増進及び社会福祉に貢献しうる人材を育成することを目的とする科目を配置している。

⑥ 助産学専攻科

助産学専攻科は、女性の主体性を尊重し、安全で質の高い助産ケアが提供できる高度な専門知識と実践力を養い、女性の生涯を通じた健康支援ができる人材を養成する。また、豊かな人間性と倫理観に裏付けられた感性と思いやりの心をもつ助産師を養成する。

大学院は、学術の理論及び応用を教授し、研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的として3つの研究科を設置している。

⑦ 大学院・経営学研究科

経営学研究科は、現代社会のあらゆる組織が直面する課題を研究領域としており、理論と企業や組織に従事する人々の現実とが、激しくぶつかり合う場であるべきと考えている。このような本研究科の理念は、つぎの2点である。

1. 教育においては、職場の問題を解決したいという学習意欲の高い社会人は、授業や研究指導を通じて

知識を高め、職場や地域社会に戻っていくことを常に意識する。

2. 研究においては、これまでの理論だけでなく、現実には起こっている事象に目を向け、新たな理論化を目指す。

本研究科の理念の基で、多様なバックグラウンドを持つ人々を受け入れ、組織の将来を担う人材の育成とびんご地域への社会貢献を目指す。

⑧ 大学院・スポーツ健康科学研究科

スポーツ健康科学研究科は、ヒトの健康・体力に関する科学をベースに、競技力向上にも及ぶ医学的、生理的、心理的、教育的メカニズムや反応などを追求する。子どもから高齢者の健康と体力づくりや限りある競技生活の中でいかに競技力を向上させることができるかを念頭においた教育・研究を行い、将来の研究者、教育者およびスポーツ指導者を養成する。

また、体育科教育学、養護教育学を通じて、実効性のあるカリキュラム開発を可能とするような保健体育および養護教育の専門的指導者を養成する。

⑨ 大学院・看護学研究科

看護学研究科は、少子超高齢社会における看護専門職としての社会的責任を果たすため、医療の場を含む生活の場で必要とされる人々の QOL 向上を目指し、生活者の視点で健康社会を支える人材を養成する。人間の尊厳とアドボカシー（advocacy）の志向に根ざし、看護活動の広範化・多様化に応じて、高いレベルの実践能力と倫理観を備え、根拠に基づいた看護実践と研究を行い、研究成果を看護の現場に還元できる看護実践者を養成する。また、看護専門職の育成に関する諸問題を考察できる研究的な視点を持った看護管理者、看護教育者を養成する。

【2】教育研究上の基本組織

本学の教育研究組織は福山平成大学組織図（図 2.1）に示すように、経営学部、福祉健康学部、看護学部の3つの学部、3つの研究科及び1つの専攻科で構成されている。また、附属図書館、大学教育センター、情報基盤センター、保健管理センター、留学生支援室及び事務局の教育研究支援組織がある。

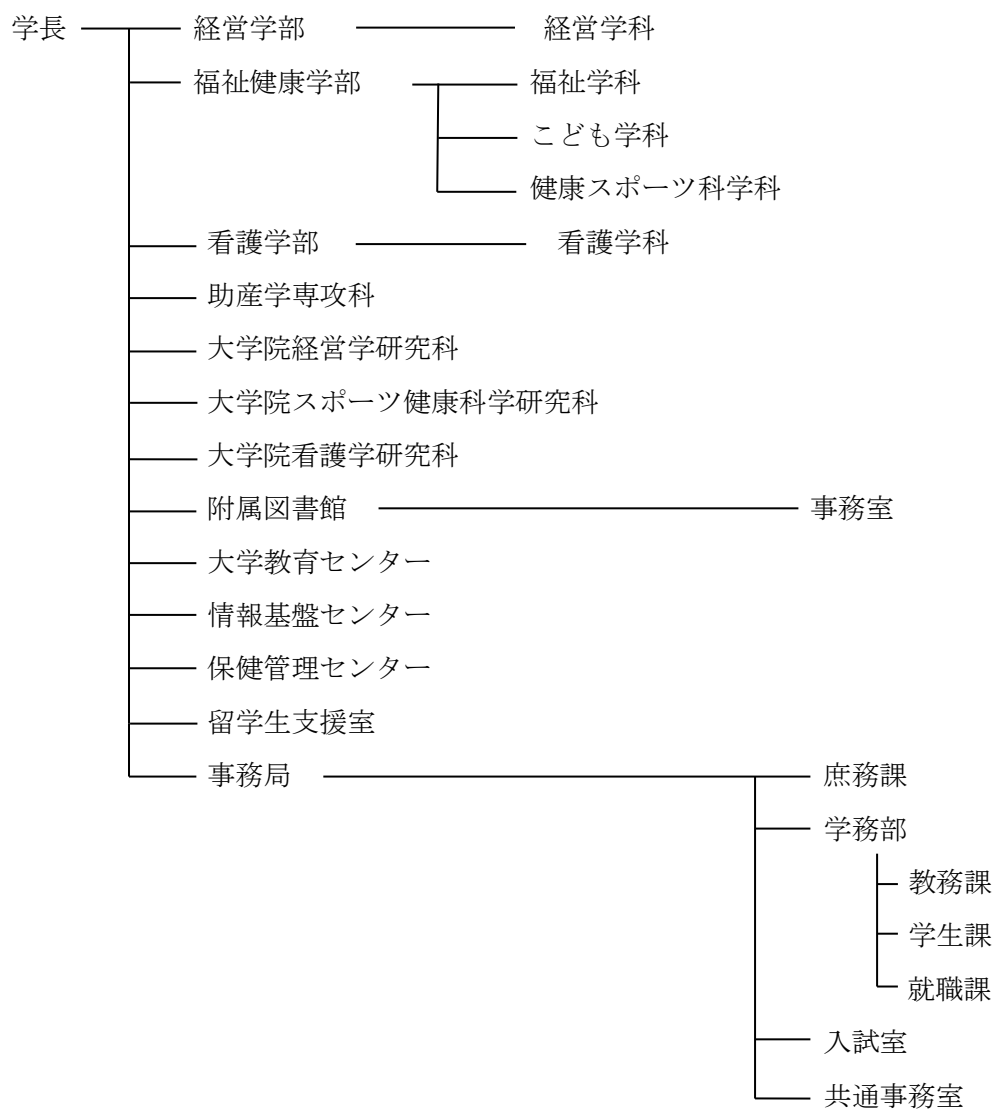


図 2.1 福山平成大学組織図

《学生数》

令和元年5月1日現在の福山平成大学の全学生数は、表2.1のとおり1,174人（学部生1,163人、院生7人、専攻生4人）である。（注）女子学生は624人で、全学生に占める女子学生比率は、53.1%である。

表2.1 学生定員及び在籍学生数（令和元年5月1日現在）

（単：人）

学 部	学 科	入学 定員	収容 定員	学生数(留学生内数)						教 員 1人当り 学生数	収容定員 充足率
				入学 者数	在籍 総数	1年次	2年次	3年次	4年次		
経営	経営	50	200	49	151(4)	49	36(1)	37(2)	29(1)	8.8	75.5%
福祉健康	福祉	60	240	34	107	34	19	25	29	7.8	44.6%
	こども	50	200	39	166	39	46	45	36	13.8	83.0%
	健康スポーツ科	100	400	85	383	85	99	104	95	24.9	95.8%
	学部計	210	840	158	656	158	164	174	160	16.2	78.1%
看護	看護	80	320	98	356	98	88	89	81	12.3	111.3%
合計 [全平均]		340	1,360	305	1163	305	288	300	270	13.1	85.5%

（注）経営学部の「（）」は留学生で内数

（年度別学科別入学状況）

学 部	学 科	H 26 入学者	H 27 入学者	H 28 入学者	H 29 入学者	H 30 入学者	H 31 入学者
経営	経営	36	30	32	39	34	49
福祉健康	福祉	41	24	28	24	20	34
	こども	57	43	40	47	47	39
	健康スポーツ科	96	110	99	104	102	85
看護	看護	91	97	95	89	90	98
合 計		321	304	294	303	293	305

（年度別研究科別入学状況）

大学院・研究科	課程	入学 定員	収容 定員	入学 者数	在籍 生数	1 年次	2 年次	H 27 入学者	H28 入学者	H 29 入学者	H 30 入学者	H31 入学者
経営学	修士	5	10	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	1(1)	1(1)	0(0)	0(0)
スポーツ健康 科学	〃	5	10	4	6	4	2	0	0	0	2	4
看護学	〃	5	10	1	1	1		0	0	0	0	1
合 計		15	30	5(0)	7(0)	5(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)	5(0)

（注）経営学研究科の「（）」は留学生で内数

（年度別専攻科入学状況）

専攻科	課程	入学 定員	在籍 生数	H 27 入学者	H 28 入学者	H 29 入学者	H 30 入学者	H 31 入学者
助産学	1年	10	9	10	10	10	9	4

出身都道府県別入学者数（令和元年 5 月 1 日現在）

出身都道府県 (出身高校等所在地)		経営学部	福祉健康学部			看護学部	合計
地区	都道府県	経営学科	福祉学科	こども学科	健康スポーツ科学科	看護学科	
中部	山梨県				1		1
	長野県				1		1
近畿	滋賀県			1			1
	大阪府				1		1
	兵庫県		2		1		3
中国	鳥取県		1	2	1	1	5
	島根県	1	1	3	9	9	23
	岡山県	12	8	5	13	9	47
	広島県	35	21	26	41	69	192
	山口県				2	3	5
四国	愛媛県		1	1	3		5
	高知県				1		1
九州	福岡県				4	2	6
	佐賀県				1	1	2
	長崎県					1	1
	熊本県			1	1		2
	大分県					1	1
	鹿児島県				4	1	5
高卒認定等		1			1	1	3
合計		49	34	39	85	98	305

退学・除籍者数、退学率（令和元年 5 月 1 日現在）

学部	学科	退学・除籍者数					退学率（％）				
		H26	H27	H28	H29	H30	H26	H27	H28	H29	H30
経営学部	経営学科	6	5	6	4	1	4.2%	4.1%	5.2%	3.1%	0.7%
福祉健康学部	福祉学科	3	2	1	1	2	2.3%	1.7%	0.8%	0.8%	1.9%
	こども学科	4	9	5	4	4	1.9%	4.6%	2.7%	2.3%	2.4%
	健康スポーツ科学科	14	14	7	12	4	3.6%	3.5%	1.8%	3.0%	1.0%
看護学部	看護学科	5	9	7	11	16	1.3%	2.3%	1.8%	3.1%	4.5%
合 計		32	39	26	32	27	2.5%	3.2%	2.2%	2.7%	2.3%

・退学率=(退学・除籍者数) / (各年学生数)

留年者数（令和元年５月１日現在）

学部	学科	留年者数					留年率（％）				
		H26	H27	H28	H29	H30	H26	H27	H28	H29	H30
経営学部	経営学科	4	4	1	2	5	2.8%	3.3%	0.9%	1.6%	3.3%
福祉健康学部	福祉学科	1	0	0	1	0	0.8%	0%	0%	0.8%	0%
	こども学科	0	0	1	2	1	0%	0%	0.6%	1.2%	0.6%
	健康スポーツ科学科	18	6	6	6	4	4.6%	1.5%	1.5%	1.5%	1.0%
看護学部	看護学科	5	8	12	9	6	1.3%	2.1%	3.2%	2.5%	1.7%
合 計		32	28	20	20	16	2.5%	2.3%	1.7%	1.7%	1.4%

留年率=(留年者数) / (各年学科学生数)

平成 30 年度卒業生数(学位授与者数)・進学者数・就職者数

	学部／研究科／専攻	学科／専攻	卒業生(卒業率)	進学者	その他	就職者
大 学	経営	経営	28(97%)			28
	福祉健康	福祉	27(100%)		2	25
		こども	34(100%)			34
		健康スポーツ科	94(97%)	2	3	89
	看護	看護	81(100%)	2	2	77
	合計		264(99%)	4	7	253
大学院	経営学	経営学				
	スポーツ健康科学	スポーツ健康科学	2(100%)			2
	看護科学	看護科学	3(100%)			3
	合計		5(100%)			5
専攻科	助産学専攻科		9(100%)			9

《教育組織の運営》

本学は、学校法人福山大学の傘下で、教育研究の目的に沿って、それぞれの組織が相互に連携しながら図 2.2 のとおり運営されている。

大学全体の教育研究に関わる重要な問題については、評議会や部局長会において決定された基本方針に基づき、学部教授会、研究科委員会及び各種委員会において、その具体的な対応についての審議が行われ、学部長等連絡会議で議題として整理され、全学教授会の審議に付される、という流れになっている。また、教育研究に関する具体的な取組みは、教務委員会、学生委員会、入試委員会、就職委員会及び広報委員会等の委員会で十分検討され、各学科単位で組織されている学科会議において協議され、教員間での意思疎通が図られる体制となっている。

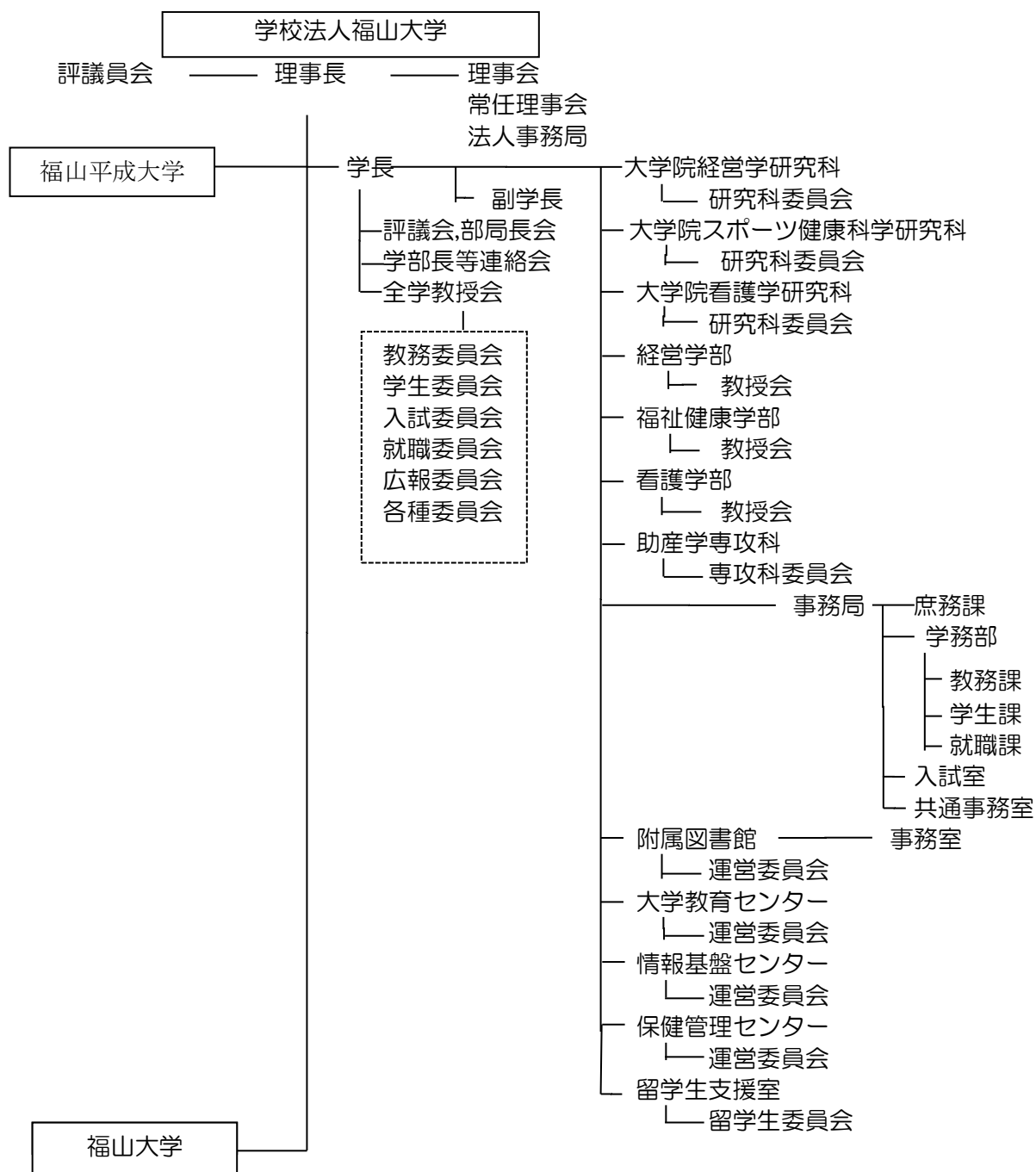


図 2.2 福山平成大学運営組織図

【3】教員数

専任教員 85 人及び非常勤講師 87 人で授業（講義・演習・実習）を担当している。

表 3.1 令和元年 5 月 1 日現在の教員数

(単位:人)

学 科 名	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	専任 計	非常勤 (特任)	備 考
学 長	1	－	－	－	－	1	－	< >の数字は、 大学院担当で 内数 ○の数字は、 女性教員で内 数 ≪ ≫助産学兼任 []一般兼任
経営学科	9 ①	2	3	1 ①	0	15 ②	4 ①	
福祉学科	5 ②	5 ②	2 ①	0	0	12 ⑤	6 ③	
こども学科	5 <1> ③	4 ①	2 ①	0	0	11 <1> ⑤	14 (1) ⑨	
健康スポーツ科学科	6 <3>	6 <4> ①	3 <3>	1 ①	0	16 <10> ②	18 ⑥	
看護学科	6 <7> ⑤	9 <4> ⑧	9 ⑨	2 ②	2 ②	28 <11> ②⑥	21 (2) ⑭	
助産学専攻	≪1>	≪1>	≪1>	≪1>	≪0>	≪4>	7 ⑤	
大学教育センター	0	0	0	1	1 ①	2 ①	－	
一般教養科目 初年次教育	[8] [12]	[4] [9]	[5] [11]	[1] [1]	[0] [0]	[18] [33]	17 ④	
計	32 <11> ⑫	26 <8> ⑩	19 <3> ⑪	5 <0> ⑥	3 <0> ④	85 <22> ④③	87 (3) ④②	172 <22> (3) ⑧⑤

(注) 専任教員に占める女性教員比率は、50. 6%である。

(専任教員年齢別教員数) (年齢は令和元年 5 月 1 日現在)

学科	29 歳以下	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70 歳以上	合計
学長						1		1
経営学科	1	1	4	3	4	2		15
福祉学科			6	5	1			12
こども学科		2	3	3	1		2	11
健康スポーツ科学科		3	5	2	2	3	1	16
看護学科		3	5	10	7	2	1	28
大学教育センター			2					2
計	1	9	25	23	15	8	4	85

表 3.2 教員の一覧(各教員の研究業績は、本学ホームページ(研究者一覧)をご覧ください。)

学長

職 名	名 前	学 位	専門分野	主な担当科目
学長	坪井 始	工学博士		プログラミング入門

経営学部

職 名	名 前	学 位	専門分野	主な担当科目
副学長 学部長 教授	川久保 和雄	工学修士	情報システム	情報システム
学科長 教授	小玉 一樹	博士(マネジメント)	人的資源管理論	経営学総論
教授	渡辺 清美	博士(教育学)	英語教育	英語
教授	福井 正康	工学博士	社会システム分析	統計
教授	佐藤 幹	博士(マネジメント)	管理会計	原価計算
教授	市瀬 信子	文学修士	中国文学	中国語
教授	佐藤 真司	工学士	教育工学	情報ネットワーク
教授	江口 圭一	博士(マネジメント)	産業・組織心理学	組織行動論
教授	芝田 全弘	修士(経営学)	財務会計	会計学原理
准教授	堀越 昌和	博士(経営学)	中小企業経営論	企業倫理
准教授	尾崎 誠	博士(工学)	教育工学	情報入門
講師	岩本 敏裕	博士(経営学)	経営戦略論	経営戦略論
講師	渡邊 正樹	修士(商学)	商学	流通論
講師	本田 良平	修士(文学)	アメリカ文学	英会話
助教	兎内 祥子	修士(経営学)	マーケティング	マーケティング

福祉学科

職 名	名 前	学 位	専門分野	主な担当科目
学科長 教授	大中 章	文学修士	カウンセリング	精神保健福祉援助実習指導
教授	向井 通郎	博士(社会福祉学)	社会福祉	障害者福祉論
教授	松井 順子	博士(生活環境学)	介護福祉	介護福祉学
教授	中司 登志美	修士(学術)	介護福祉	認知症の理解
教授	岡部 真智子	博士(社会福祉学)	社会福祉	社会福祉論
准教授	浅井 智雄	博士(教育学)	英語教育	英語
准教授	上野 善子	博士(社会科学)	社会福祉	児童福祉論
准教授	藤井 宏明	修士(医療福祉学)	介護福祉	介護技術
准教授	中嶋 裕子	修士(学術)	精神保健福祉	精神保健福祉の理論と相談援助の展開
准教授	杉本 浩章	修士(福祉マネジメント)	社会福祉	地域福祉論
講師	崔 銀珠	博士(社会福祉学)	社会福祉	社会福祉援助技術現場実習
講師	武村 淳司	修士(社会福祉学)	介護福祉	介護福祉学

こども学科

職 名	名 前	学 位	専門分野	主な担当科目
学部長 教授	永井 純子	博士(学校教育学)	健康教育学	保健体育科教育学特講
学科長 教授	三藤 恭弘	博士(教育学)	初等国語科教育	初等教科教育法(国語)
教授	山崎 洋子	博士(学術)	教育学	教育原理
教授	田辺 尚子	MA(英語教育学)	英語教育学	初等外国語科教育法
教授	中原 大介	修士(社会学)	対人援助	家庭支援論
准教授	川島 範章	博士(学校教育学)	教育心理学	教育心理学
准教授	西川 京子	博士(教育学)	社会科教育	初等教科教育法(社会)
准教授	伊藤 憲孝	修士(音楽)	音楽	ピアノⅠ
准教授	田中 宏和	博士(法学)	法学	憲法
講師	矢野川 祥典	修士(教育学)	特別支援教育	特別支援教育論
講師	田中 紀子	修士(教育学)	教育方法学	教育方法論

健康スポーツ科学科

職 名	名 前	学 位	専門分野	主な担当科目
学科長 教授	石橋 勇	修士(社会学)	コンディショニング科学	臨床スポーツ医学
教授	楠本 恭久	文学修士	スポーツ心理学	スポーツカウンセリング
教授	沖増 英治	医学博士	生命科学	基礎生理学
教授	磨井 祥夫	教育学修士	身体運動科学	身体運動解析学
教授	入澤 雅典	修士(教育学)	スポーツ生理学	臨海指導実践演習(遠泳)
教授	上村 崇	博士(文学)	倫理学	道德教育
准教授	中村 雅子	修士(看護学)	養護教育学	養護概説
准教授	三宅 幸信	修士(教育学)	保健体育科教育学	保健体育科教育法Ⅰ
准教授	松田 広	修士(スポーツ科学)	保健体育科教育学	保健体育科教育法Ⅱ
准教授	森澤 桂	体育学修士	スポーツ運動学	運動・スポーツ指導方法論
准教授	松井 弘志	修士(スポーツ健康学)	コーチング学	バレーボール
准教授	高本 健彦	修士(健康体育学)	健康科学	運動処方論
講師	若井 研治	修士(スポーツ健康学)	コーチング学	サッカー
講師	河野 洋	博士(スポーツ健康科学)	スポーツ社会学	スポーツ原論
講師	藤本 太陽	博士(体育科学)	スポーツ心理学	メンタルトレーニング方法論
助教	石井 智紋	修士(スポーツ健康学)	健康科学	スポーツ実践演習(トレーニング)

看護学科

職 名	名 前	学 位	専門分野	主な担当科目
学部長 教授	木宮 高代	修士(看護学)	老年看護学	高齢健康科学・災害看護論
学科長 教授	安達 直子	修士(看護学)	小児看護学	子どもの成長と健康

教授	才野原 照子	修士(人間科学)	基礎看護学	基礎看護学
教授	齋藤 智江	修士(保健科学)	成人看護学	成人看護学総論
教授	志村 千鶴子	博士(医科学)	助産学・母性看護学	母性と生命科学
教授	井上 徹	博士(医学)	基礎医学	身体のしくみ、看護と病態
准教授	岡 和子	修士(社会福祉学)	基礎看護学	看護科教育法Ⅰ・Ⅱ
准教授	後藤 満津子	修士(保健学)	精神看護学	看護とカウンセリング
准教授	長野 扶佐美	修士(看護学)	公衆衛生看護学	公衆衛生看護管理論
准教授	藤田 晶子	修士(看護学)	在宅看護学	在宅看護論
准教授	伊東 美佳	修士(看護学)	基礎看護学	治療助产学
准教授	曾根 清美	修士(人間学)	助産学・母性看護学	母性と生命科学
准教授	大塚 千秋	修士(保健学)	老年看護学	高齢健康科学・リスクマネジメント
准教授	内田 史江	修士(看護学)	基礎看護学	生活助产学・看護学教育論
准教授	齋藤 公彦	修士(看護学)	公衆衛生看護学	保健医療福祉行政論
講師	加地 みゆき	修士(看護学)	成人看護学	生活習慣と健康Ⅱ
講師	藤井 小夜子	修士(看護学)	成人看護学	生活習慣と健康Ⅰ
講師	山本 千佳子	修士(看護学)	老年看護学	高齢健康科学・老年看護助产学
講師	福田 久仁子	修士(看護学)	精神看護学	精神看護助产学
講師	佐竹 潤子	修士(看護学)	小児看護学	小児看護助产学
講師	藤原 弘子	修士(看護学)	助産学・母性看護学	母性看護助产学
講師	大元 雅代	修士(看護学)	在宅看護学	在宅看護助産論
講師	平川 幹子	修士(看護学)	成人看護学	成人看護助产学
講師	木場 しのぶ	修士(看護学)	成人看護学	成人看護助产学
助教	樋口 雪子	学士(教養学)	助産学・母性看護学	母性看護・助産学実習
助教	笹木 佳子	修士(看護学)	公衆衛生看護学	公衆衛生看護技術論
助手	廣田 明美		基礎看護学	基礎看護学実習
助手	山内 紀代美		成人看護学	成人看護学実習

大学教育センター

職 名	名 前	学 位	専門分野	主な担当科目
助教	細川 光浩	修士(経営情報学)	情報処理教育	情報処理
助手	奥田 由紀恵	修士(経営情報学)	情報処理教育	情報処理

科学研究費応募状況（学術研究助成基金助成金、科学研究費補助金）

○ 研究代表者

採択年	所属	職名	氏名	研究種目	研究課題名
平成 26 年度	経営	教授	市瀬 信子	基盤研究（C）	乾隆時代における、移動する杭州詩人集団の変質と展開に関する研究
平成 26 年度	看護	教授	若井 和子	挑戦的萌芽研究	ポートフォリオを活用した親子で学ぶ性教育プログラムの開発
平成 27 年度	経営	講師	徐 恩之	若手研究（B）	企業ブランド管理における社内メンバー間の認識不一致に関する研究
平成 27 年度	健康スポーツ	教授	上村 崇	挑戦的萌芽研究	「偏向報道・極化」問題における実証的研究と倫理学的研究の統合的把握
平成 27 年度	健康スポーツ	講師	中須賀 巧	若手研究（B）	体育授業における動機づけ雰囲気教育効果に関する縦断研究一生きる力に着目してー
平成 28 年度	経営	講師	朝日 亮太	若手研究（B）	合併が低費用航空会社に与える影響に関する実証的研究
平成 28 年度	健康スポーツ	講師	大橋 充典	若手研究（B）	ブログにおけるスポーツのメディア言説に関する研究
平成 28 年度	看護	講師	佐竹 潤子	挑戦的萌芽研究	子どもの夜間受診の現状と親の対処能力
平成 29 年度	経営	教授	市瀬 信子	基盤研究（C）	清朝康乾年間における杭州詩人集団の詩会活動と地方文献編纂に関する研究
平成 29 年度	経営	教授	小玉 一樹	基盤研究（C）	雇用形態の多様化が集団及び組織に及ぼす影響に関する研究
平成 29 年度	福祉	准教授	岡部 真智子	基盤研究（C）	地域包括ケアシステム下における高齢者向け居住支援の方策
平成 29 年度	福祉	准教授	杉本 浩章	基盤研究（C）	地域包括ケア時代の看取りと専門職間協働
平成 29 年度	こども	教授	山崎 洋子	基盤研究（C）	イギリス新教育における「女子・女性教育論」とジェンダーに関する思想史的研究
平成 29 年度	こども	講師	上田 紋佳	若手研究（B）	不安認知における長期記憶の効率性とワーキングメモリの柔軟性の不均衡仮説の検討
令和元年度	経営学科	准教授	堀越 昌和	若手研究	自然災害からの中小企業の復興プロセスと事業継承計画に関する研究
令和元年度	看護学科	准教授	岡 和子	基盤研究（C）	高等学校（看護）教育実習における学生の自己評価表の開発に向けて

○ 応募・採択件数

年	研究種目	応募件数	採択(継続)件数
平成 26 年度	基盤研究 (C)	12	1
	挑戦的萌芽研究	3	1
	若手研究 (B)	5	0
	スタート支援	2	0
	計	22	2
平成 27 年度	基盤研究 (C)	12	0
	挑戦的萌芽研究	4	1
	若手研究 (B)	7	2
	スタート支援	2	0
	計	25	3
平成 28 年度	基盤研究 (C)	13	0
	挑戦的萌芽研究	5	1
	若手研究 (B)	8	2
	スタート支援	1	0
	計	27	3
平成 29 年度	基盤研究 (C)	17	5
	挑戦的萌芽研究	10	0
	若手研究 (B)	3	0
	スタート支援	1	0
	計	31	5
平成 30 年度	基盤研究 (C)	16	5
	基盤研究 (C) (特設分野研究)	1	0
	挑戦的萌芽研究	8	0
	若手研究 (B)	10	1
	研究成果公開促進	2	0
	計	37	6
令和元年度	基盤研究 (C)	20	1
	基盤研究 (C) (特設分野研究)	1	0
	挑戦的研究 (萌芽)	8	0
	若手研究	8	1
	研究成果公開促進費 (学術図書)	1	0
	計	38	2

外部資金獲得状況

- ・平成 30 年度 科学研究費助成事業 採択件数 13 件 7,150 千円
- ・平成 30 年度 受託研究費 国等 1 件 489 千円

【４】入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況

＜受入方針＞

本学の“建学の精神”には、「大学は、真理を探求し道理を実践する勇気ある若人、生命を尊び他人を敬い自らの郷土・社会・国家を愛し、進んで世界を愛することのできる視野の広い若人を期待し、歓迎する。本学は、未来を志向する無垢な若人に明日の希望を託し、明るい未来の礎を築くため、人材養成を主眼とする。」と記されている。また、“知行合一”を教育理念の一つとして、社会のニーズに沿った理論と応用的技術能力を備えた社会人の養成を主眼とし、本学の３学部５学科の全てにおいては実社会で即戦力となることを目指すとともに、各種の資格が取得できるように教育課程上の工夫をしている。

また、本学は、時代の変化に対応できる知識と技術に裏付けられた「総合的な問題解決能力」を身につけ、幅広い視野のもとで自分の責任で考え、選択し行動できる人、即ち、これからの社会で活躍できる人材を育成する。本学ではこの目標の実現に向けて、次のような人の入学を期待している。

- ・ 自ら学び、自ら考え未来を切り拓く意欲がある人
- ・ 自己実現に向かって目的意識をもち、継続して努力ができる人
- ・ 実社会で即戦力となることを目標にして、積極的に取り組みができる人

（経営学部・経営学科）

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

経営学科では、豊かな人間性にあふれ、考えの異なる人たちとも協調して、時代の要請する企業経営上の、あるいは地域が直面している課題の解決に取り組み、地域の発展に貢献できるビジネスパーソンや産業人等の人材を育成します。

そのために、次のような意欲と熱意をもった人を積極的に受け入れます。

1. 高等学校における学習内容を理解し、また、スポーツ・文化などの部活動や生徒会活動、地域のボランティア、あるいは資格の取得などに主体的、積極的に取り組み、大学入学後も目的を持って主体的に学生生活を送ろうという意欲を持っている人
2. 現代の企業の経営や地域の現状について関心があり、そういった問題をより深く理解するために、自ら進んで勉強し、継続した努力のできる人
3. 将来、ビジネスパーソンや産業人、あるいは地域で活躍しようとして、経営関係分野の専門知識や技術の習得をめざしている人

（福祉健康学部・福祉学科）

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

福祉学科では、「共感と共生」を基本にした福祉（ウェルビーイング）の理念を柱に、共感の心・自立の支援・共生を可能にする福祉のプロフェッショナルの養成を目指します。福祉施設等の実習をとおして専門知識と実務能力を備えた人材を育成します。そのため、次のような意欲と熱意をもった人を積極的に受け入れます。

1. 社会福祉及び関連分野に関心をもち、将来それらの分野において活躍するために専門知識や技術を学ぶ意志をもつ人
2. 自分と他者の関係を大切にし、コミュニケーション能力や倫理観を高めるための自己学修に意欲のある人
3. さまざまなボランティア活動や社会貢献活動に積極的・主体的に参加し、実践能力を高めるための行動ができる人
4. 人の幸せを進んで支援することに生き甲斐を感じることもできる人。

(福祉健康学部・こども学科)

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

こども学科では、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の養成を主な目的とし、子どもを大切に育て、子どもの可能性を引き出し、子どもを取り巻く社会状況の変化に対することが出来る人材を育成します。そのため、次のような意欲と熱意をもった人を積極的に受け入れます。

1. 保育士・教育者としての素養を身につけようとし、自ら知識を得ようとする人
2. 発達と学習を促進する支援と指導の力をつけようとする人
3. より良い地域・社会の創出に取り組もうとする人

(福祉健康学部・健康スポーツ科学科)

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

健康スポーツ科学科では、現代社会における健康意識の向上とスポーツ実践の役割を認識し、身体活動を介した健康やスポーツを体系的に深く理解することにより、調和のある人間形成を図ります。更に「健康」「スポーツ」「教職」の3つを柱に、社会に貢献できる有能な職能人・教員・指導者や研究者の人材を育成します。そのため、次のような意欲と熱意をもった人を積極的に受け入れます。

1. スポーツや健康科学に強い興味と関心を持ち、自ら学ぼうとする意欲が旺盛な人
2. 健康・スポーツ文化を発信するための能力や感性を身につけたいと考えている人
3. 目的を段階的に捉え、成果に向けて努力・達成しようとする人

(看護学部・看護学科)

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

看護学科では、「全人教育」「人間と自然を尊ぶ教育」「心情と愛の教育」「知行合一の教育」の本学の教育理念を基に、将来の看護実践者・指導者・教育者としての人材を育成します。

そのために、次のような意欲と熱意をもった人を積極的に受け入れます。

1. 他者の尊厳と権利を重んじ、人間を尊重することのできる人
2. 看護専門職として夢と関心をもち、看護の学修に積極的に取り組む姿勢をもっている人
3. 相手のことばに耳を傾け、自分の考えを適切に表現し、あたたかい心でコミュニケーションがとれる人
4. 社会の一員として自覚と倫理観をもち、看護専門職として人の役に立ちたいと思っている人
5. 多様な価値観や異なる文化を理解しようとする姿勢をもっている人

＜専攻科＞

（助産学専攻科）

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

高度な専門知識と実践能力を身につけ、女性の生涯を通じた健康支援ができる助産師を育成します。助産学専攻科では、次のような女性を積極的に受け入れます。

1. 母性看護学に関心をもち、学び自己研鑽することができる人。
2. 母性看護の対象である全ての年代の女性の母性を健全に育成する役割を果たすことができる人。
3. 豊かな人間性と倫理観に裏付けられた感性をもつ人。
4. 将来、助産師として地域に貢献することができる人。

＜大学院＞

（経営学研究科 経営情報学専攻（修士課程））

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

経営学研究科では、公的機関や民間企業に勤務する社会人だけでなく、学部新卒者や留学生も含めて、専門分野を一切問わず、様々なバックグラウンドを有する人々を幅広く受け入れます。求めている具体的な学生像は次のとおりです。

1. 様々な組織が直面する経営上の課題について、高い関心と旺盛な研究意欲を持つ人。
2. 職業上の経験に根ざした強い問題意識を持ち、高度の専門的知識、実践能力、問題解決能力を習得する意欲のある人。
3. 修士課程の講義の受講や修士論文作成に必要な、一般常識や日本語の文章作成力を有する人。

（スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻（修士課程））

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

本研究科では、個人の健康・体力を科学し、生理メカニズムを追求するカリキュラム構成で、身体活動を中心とした医学的・心理的・生理的メカニズムの研究を行い、専門分野の知識を極めた将来の教育指導者を養成します。

大学院スポーツ健康科学研究では、医学、生理学、心理学、そして教育学など、健康科学や体力科学に関する学術基盤を背景に、子どもから中・高齢者にわたる健康と体力づくり、各種スポーツの競技力向上を念頭にいた教育・研究を行っています。将来、健康とスポーツを大きく牽引する研究者、教育者および指導者を養成することを目的とし、この目的を達成するため、下記に示すアドミッション・ポリシーを明示しています。

近年、健康とスポーツに求められる価値は多様化の一途をたどり、身体活動を媒介するところでは共通するものの、その運動実践に対する意味や価値創出の背景には閉塞感が蔓延しています。このような時代にこそ、新しい発想や着眼点から、独創的な試みや挑戦をしようとする人材が求められています。そこで、スポーツ健康科学研究科では、下記のような明確な目標をもった人材を求めます。

1. 健康とスポーツ、そして教育分野で活躍する具体的な将来ビジョンを有している人。
2. 仮説-検証プロセスに基づき、健康やスポーツ文化・活動を科学的に分析したいと希望する人。
3. これまでにない新しい価値の創造や可能性に挑戦したいという意志を有している人。

（看護学研究科 看護学専攻（修士課程））

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

看護・医療の進歩と共に、専門知識の深化及び看護管理のために研究能力を高めることが、看護の実践現場には求められています。その要求に応えるため、看護管理者としてのマネジメント能力ならびにリーダーシップ能力を併せ持つ人材を育成する。

1. 看護学および保健医療福祉領域における研究に意欲を持つ人。
2. 健康問題を幅広い視野で総合的に捉え、新しい分野の開拓や理論の創出に意欲を持つ人。
3. 看護管理学・看護学教育領域および地域健康看護学領域の研究に自ら積極的に取り組み、社会に貢献する意欲を持つ人。

<在学者数>

令和元年 5 月 1 日現在の福山平成大学の在学者数は、表 2.1 及び下記に示すとおり 1,163 人である。なお、平成 25 年度からは、学部 の 収 容 定 員 が 1,410 人 から 1,360 人 に 変 更 に な っ た。

学部（学科）	志願者		入学者		在学者数 (学科内訳)
	学部計	学科内訳	学部計	学科内訳	
経営学部（経営学科）	140 人	140 人	49 人	49 人	151 人
福祉健康学部	294 人		158 人		656 人
（福祉学科）		72 人		34 人	(107 人)
（こども学科）		93 人		39 人	(166 人)
（健康スポーツ科学科）		129 人		85 人	(383 人)
看護学部（看護学科）	291 人	291 人	98 人	98 人	356 人
合計	725 人		305 人		1163 人

<社会人学生数>

社会人受け入れの為の入試制度は、実施していません。

<就職及び進学状況>

1) 就職指導体制

本学は開学以来「社会に貢献できる有為な人材」の育成に力を注ぐとともに、学生へのキャリア教育及び就職指導に全教職員が一丸となって、しかも、きめ細かく取り組み、毎年 100%近い内定率を達成してきました。とりわけ、平成 29 年度は、目標とする 100%をついに達成しました！

このような結果が得られた背景を具体的に見ると、次のような体制で学生へのキャリア教育及び就職指導に当たっていることが、おわかりいただけると思います。

- ① 就職委員会を全学機関として設置しています。その構成は、各学科の就職委員によります。就職委員会は本学の就職指導方針及び指導方法を検討し、その決定に基づき全学的な取り組みを行っています。

- ② 具体的なキャリア教育及び就職指導はこの指導方針に基き、各学科のクラス担任を中心にして、それぞれの学科の教員が全体として、一人ひとりの学生の希望及び能力・適性等に応じた指導を行っています。

なお、個々の学生の進路希望、指導内容、本人の適性、就活の進捗状況及び内定結果等の情報は、学生総合支援システム（ゼルコバ）の『WEB 就職支援』へ登録することができます。このシステムへ学生、教員、就職課のそれぞれが入力することにより、クラス担任を含めた学科の教員と就職課との間で、情報の共有化及びその有効活用が可能となり、学生への就職支援を、より効果的なものになっています。

- ③ 就職課の機能としては、キャリア教育及び就職情報の収集・提供、また、それに基づいた3年生を中心とした就職ガイダンスの実施、4年生への就職セミナー、学生への就職相談への対応、エントリーシート等の就職応募書類の作成指導、面接指導等が挙げられます。

これらのことが円滑に機能するためには、各学科の就職委員や各クラス担任との日常的で緊密な連携が欠かせません。それを、より効果的にするために、②で取り上げた学生総合支援システム（ゼルコバ）があります。それに加えて、ジョブサポーター及びキャリアカウンセラーによる、学生への個別相談などの指導体制があります。

- ④ ③で取り上げた3年生を中心とした就職ガイダンスは、就職課が通年で実施します。具体的には、毎年5月から翌年の2月頃までの期間で、原則として毎週金曜日の4時限目に約30コマ開催しています。このガイダンスでは、社会に出て働く意味や就職への動機付けを始め、企業講演会、適性検査、模擬面接、マナー講座等、キャリア教育及び就職活動に係る多様な内容を実施します。このような取り組みをととして、学生に勤労観・職業観の涵養を図るとともに、的確な進路選択と進路実現のための具体的な行動目標の設定につなげています。

- ⑤ 実際の就職活動に際しての注意点及び考慮すべき点等、詳細については、3年生を対象にした就職ガイダンスの中で、「就職の手引き」を別途配付し、説明を行っています。

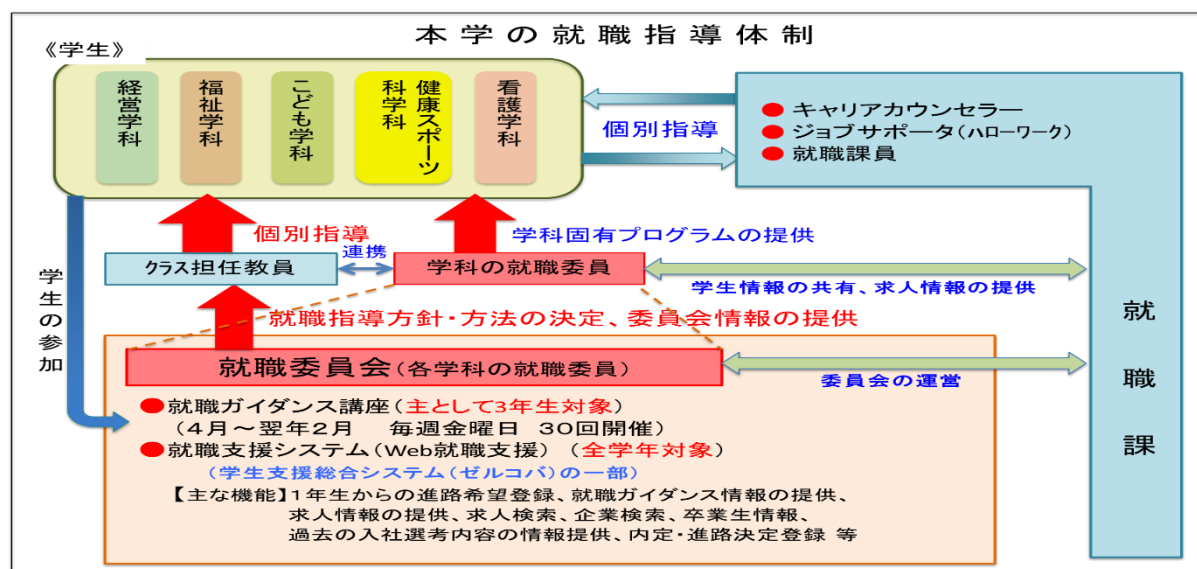


図 4.1 就職指導体制

2) 平成 29 年度（第 21 期生）の就職状況

本学の就職率の推移は、開学以来常に 95%を上回っており、本年度も最終就職率 100%を達成することができました。

表 4.1 平成 31 年 3 月卒業生の就職状況

（令和元年 5 月 1 日現在 学校基本調査データ）

（単位：人）

学 科	卒業者数	進 学	その他	就職希望者数	就職決定者数	内定率(%)
経 営	28	0	0	28	28	100.0
福 祉	28	0	2	27	26	96.2
こ ど も	35	0	1	34	34	100.0
健康スポーツ科	97	2	3	92	92	100.0
看 護	81	2	2	77	77	100.0
合 計	269	4	8	258	257	99.6

※進学：大学院・専攻科等の進学、

※その他：教職・看護師・保険師・公務員等志望、結婚・病気療養及び家事手伝い等

※内定率＝就職決定者数÷就職希望者数

※平成 30 年 9 月卒業生を含む

3) 卒業生の主な就職先（学科別）

【経営学部】

○経営学科

《一般企業》

(株)アクトシステムズ アタックベース(株) 映クラ(株) カイハラ(株) キャステム(株) (株)サタケ
JFE スチール(株)西日本製鉄所 中国テレホン(株) トクショウ(株) (株)なかやま牧場 西日本イワ
タニガス(株) 日塗(株) 広島トヨタ自動車(株) 美建工業(株) 双葉運輸(株) (株)マークスラッシュ
(株)御池鋳工所 (株)山本製作所 他

《金融・保険》

笠岡信用組合 しまなみ信用金庫 各 JR (株)広島銀行 両備信用組合 他

《公務員 他》

福山市役所 自衛隊 警察 消防署 府中商工会議所 福山商業高等学校 他

【福祉健康学部】

○福祉学科

《医療・福祉》

(社福)一れつ会 (社福)尾道さつき会 (株)QLO サービス (社福)祥和会五本松の家 (社福)松風(社
福)深山会いこい荘 (社福)瀬戸内学園 (社福)総絆福祉会 (独法)国立病院機構中国四国グルー
プ (社福)で・ふ・か (社福)虹の会 (医社)ひがしの会 (社福)広島県同胞援護財団 他

《社協 他》

《一般企業》

(株)新井商店 (株)エムケイケイ (株)コアズ サンレスター(株) (株)ダスキン山口 (株)備南自動車学校(株)フジファミリーフーズ

○こども学科

《幼稚園・保育園・施設》

(幼稚園・保育園・こども園) あんず保育園 こども園のとはら たま保育園 水呑こども園
めばえ幼稚園 もみのき保育園 わかば保育園

(福祉施設) (社福)一れつ会 (社福)「ゼノ」少年牧場 (社福)静和会府中むつみ園 (社福)創樹会
(福山六方学園) (社福)八葉会大門未来園 (株)松原組 (社福)龍華福祉会(福山ルンビニ園) 他

《教員・公務員》

(教 員) 福山市立蔵王保育所 福山市立手城幼稚園 尾道市立吉和小学校 義務教育学校府中学園 福山市立中条小学校 福山市立川口東小学校 福山市立広瀬小学校 福山市立藤江小学校 三原市立深小学校 倉敷市立万寿東小学校 米子市立住吉小学校 高知市立初月小学校

(公務員) 井原市役所 自衛隊

《一般企業 他》

(株)インターナカツ 佳翠苑皆美

○健康スポーツ科学科

《一般企業 他》

(株)青山キャピタル 今治造船(株) (株)エブリイホーミーホールディングス (株)岡山スポーツ会館 (株)小川長春館 (株)サカイ引越センター 坂本電気工事(株) (株)ザグザグ (株)サンエス スーパースポーツゼビオ(株) 住友電気工業(株) JFE スチール(株)西日本製鉄所 東京ガスエコモ(株) (株)東京ドームスポーツ トモテツグループ トヨタカローラ広島(株) 西日本高速道路パトロール中国(株) 日塗(株) 日東製網(株) ニッポンレンタカー中国(株) (株)はっけん(カーブス) (株)ハローズ (株)ファクトリージャパン (株)福山臨床検査センター 学校法人福山大学 不二サッシ(株) ホットヨガスタジオ LAVA (株)御池鐵工所 他

《教員・公務員》

(教 員) 島根県立益田養護学校 広島県立尾道特別支援学校 福山市立精華中学校

(公務員) 浦添市役所 庄原市役所 自衛隊 広島県警察 和気町立本荘にこにこ園

【看護学部】

○看護学科

《病院》

藍野病院 板橋中央総合病院 愛媛大学医学部附属病院 大田記念病院 岡山旭東病院 岡山医療センター 岡山済生会総合病院 沖縄徳洲会中部徳洲会病院 川崎医科大学総合医療センター がん研究会有明病院 九州医療センター倉敷中央病院 呉医療センター 神戸市民病院機構 国際医療福祉大学成田病院 国立循環器病研究センター 蔵王病院 島根大学医学部附属病院 順天堂大学医学部附属浦安病院 順天堂大学医学部附属順天堂医院 JA 尾道総合病院 総合東京病院 中国中央病院 寺岡記念病院 寺岡整形

外科病院 東京大学医学部附属病院 東京西徳洲会病院 那覇市立病院 日本鋼管福山病院 東大阪医療センター 東大阪病院 兵庫医科大学病院 広島共立病院 広島大学病院 福山医療センター マツダ病院 ももの里病院 安来第一病院

《教員・公務員》

(教 員) (学法)アナン学園高等学校 (学法)岡山龍谷高等学校
 (公務員～看護師～) 井原市民病院 広島市民病院 福山市民病院 公立みつぎ総合病院
 (公務員～保健師～) 浅口市 岡山県 岡山市 尾道市

4) 各種の資格 (学科別)

本学で取得できる資格は、次のとおりである。これらの資格を取得できるように、各学科で教育課程上の工夫や指導がなされている。

表 4.2 本学で取得できる資格

経営	経営		高等学校教諭一種免許状 (商業) 文部科学省後援ビジネス能力検定ジョブパス / 1～3 級 日商簿記検定試験 / 1～3 級 電子会計実務検定試験 / 2～3 級 ビジネス会計検定 リテールマーケティング (販売士) 検定試験 / 1～3 級 経営学検定 / 初級 外務員資格 (証券外務員) 医療事務管理士技能認定試験 診療報酬請求事務能力認定試験 秘書技能検定 / 2～3 級 ICT プロフィシエンシー検定 (P 検) / 2～3 級 マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS) I T パスポート試験 (国家試験) 基本情報技術者試験 (国家試験) 応用情報技術者試験 (国家試験) T O E I C H S K (漢語水平考試)
福祉健康	福祉	社会福祉 コース	高等学校教諭一種免許状 (福祉) 社会福祉士 (国家試験受験資格) 精神保健福祉士 (国家試験受験資格) 保育士資格 (国家資格) 福祉用具専門相談員 社会福祉主事 (任用資格) 児童指導員 (任用資格)

		介護福祉 コース	高等学校教諭一種免許状（福祉） 社会福祉士（国家試験受験資格） 精神保健福祉士（国家試験受験資格） 介護福祉士（国家資格受験資格） 福祉用具専門相談員 社会福祉主事（任用資格） 児童指導員（任用資格）
		資格取得 支援対象	介護職員初任者研修 認知症ライフパートナー 福祉住環境コーディネーター 診療報酬請求事務能力認定試験
	こども		幼稚園教諭一種免許状 小学校教諭一種免許状 保育士資格（国家資格）
	健康スポーツ科		中学校教諭一種免許状（保健体育） 高等学校教諭一種免許状（保健体育） 養護教諭一種免許状 健康運動実践指導者（受験資格） 日本スポーツ協会 競技別指導員、競技別コーチ等 （受験資格）
看護	看護		中学校教諭一種免許状（保健） 高等学校教諭一種免許状（保健） 高等学校教諭一種免許状（看護） 養護教諭一種免許状 看護師（国家試験受験資格） 保健師（国家試験受験資格）

【5】授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画

本学の授業科目及び授業方法・内容については、紙媒体の学生便覧、電子媒体の授業時間割及びシラバスによって学生に周知し、履修指導や修学指導を行っている。なお、年間の授業計画は、教務委員会から全学教授会に諮られ、全教員が承認のうえ、実施されている。この年間事業計画を「学年暦」と呼び、全学生に配布する。

表 5.1 2019 年度 学 年 暦 (授業計画)

2019年度学年暦 (付、A・B週)

月	A・B	日	月	火	水	木	金	土	日	曜	行	事
4	A		1	2	3	4	5	6	4	木	入学式	
	B	7	8	9	10	11	12	13	4(木)～6(土)		新入生オリエンテーション	
	A	14	15	16	17	18	19	20	8(月)～9(火)		新入生合宿オリエンテーション	
	B	21	22	23	24	25	26	27	6(土)～9(火)		前期健康診断	
	A	28	29	30					8(月)～10(水)		在学生オリエンテーション	
5									11	木	前期授業開始	
									5(金)～12(金)		履修申請期間(Web入力)	
									17(水)～18(木)		履修申請確認期間	
											Web就職登録更新期間	
6	A				1	2	3	4	7(火)～10(金)		教職カルテ入力期間	
	B	5	6	7	8	9	10	11	7(火)～10(金)		履修辞退手続期間	
	A	12	13	14	15	16	17	18	15	水	開学記念日・学長杯争奪競技大会	
	B	19	20	21	22	23	24	25				
	A	26	27	28	29	30	31					
7	A							1	7	金	曜日調整日(水曜日(A週)の授業)	
	B	2	3	4	5	6	7	8				
	A	9	10	11	12	13	14	15	22	土	見学会	
	B	16	17	18	19	20	21	22				
	A	23	24	25	26	27	28	29				
8	B	30										
9	B		1	2	3	4	5	6	2	金	前期授業終了	
	A	4	5	6	7	8	9	10	8/3(土)～8/9(金)		前期定期試験	
	B	11	12	13	14	15	16	17	10	土	夏季休業開始	
	A	18	19	20	21	22	23	24	17	土	体験入学会	
	B	25	26	27	28	29	30	31	8/19(月)～前期集中講義開始		8/25(日)～9/8(日) 保証人懇談会(地方・本学会場) ※地方会場(広島・松江・松山・福岡) 8/25(日) ※本学会場 9/7(土)～9/8(日)	
10									31	土	見学会	
11	A	1	2	3	4	5	6	7	未定		保証人懇談会(地方会場) 沖縄	
	B	8	9	10	11	12	13	14				
	A	15	16	17	18	19	20	21	15	日	夏季休業終了	
	B	22	23	24	25	26	27	28	18	水	後期授業開始	
	A	29	30						18(水)～20(金)		後期追加履修申請期間	
12									24	火	曜日調整日(火曜日(A週)の授業)	
									9/25(水)～9/28(土)		履修申請確認期間	

月	A	B	日	月	火	水	木	金	土	日	曜	行	事
10	A				1	2	3	4	5				
	B	6	7	8	9	10	11	12	13	6	日	指定校入試	
	A	13	14	15	16	17	18	19	20	15(火)~18(金)		履修辞退手続期間	
	B	20	21	22	23	24	25	26	27	16	水	曜日調整日(月曜日(B週)の授業)	
	A	27	28	29	30	31				18(金)~21(月)		御幸祭	
11										24	木	曜日調整日(月曜日(B週)の授業)	
	A						1	2	3				
	B	3	4	5	6	7	8	9	10	6	水	曜日調整日(金曜日(B週)の授業)	
	A	10	11	12	13	14	15	16	17	7(木)~8(金)		推薦入試(A日程)	
	B	17	18	19	20	21	22	23	24	18(月)~20(水)		後期健康診断(1日実施)	
12	A	24	25	26	27	28	29	30	31				
	B	1	2	3	4	5	6	7	8	7	土	推薦入試(B日程)	
	A	8	9	10	11	12	13	14	15	12	木	曜日調整日(月曜日(A週)の授業)	
	B	15	16	17	18	19	20	21	22	21	土	冬季休業開始、後期集中講義開始	
	A	22	23	24	25	26	27	28	29	28	土	仕事納め	
1	B	29	30	31									
	B				1	2	3	4	5	6	月	仕事始め	
	A	5	6	7	8	9	10	11	12	7	火	冬季休業終了	
	B	12	13	14	15	16	17	18	19	8	水	授業開始	
	A	19	20	21	22	23	24	25	26	15	水	曜日調整日(月曜日(A週)の授業)	
2	B	26	27	28	29	30	31			17	金	センター試験会場設営	
										18(土)~19(日)		大学入試センター試験	
										30	木	後期授業終了	
										1/31(金)~2/3(月)		前期入試(A日程)	
	B								1				
3	A	2	3	4	5	6	7	8	9	4(火)~14(金)		後期定期試験	
	B	9	10	11	12	13	14	15	16	15(土)~29(土)		学部学科別行事	
	A	16	17	18	19	20	21	22	23	19	水	前期入試(B日程)	
	B	23	24	25	26	27	28	29	30				
	A	1	2	3	4	5	6	7	8	1	日	春季休業開始	
3	B	8	9	10	11	12	13	14	15	7	土	後期入試	
	A	15	16	17	18	19	20	21	22	14	土	春の見学会	
	B	22	23	24	25	26	27	28	29	21	土	学位記授与式(卒業式)	
	A	29	30	31									

- 授業
- 定期試験
- 行事
- 入試(センター等)
- 曜日調整日
- 特別授業日

各学部・各学科ともに、本学の“建学の精神”及び“大学の基本理念”に基づき、定められた学部の目的ならびに学科の目的を実現するため、教育課程を体系的に編成し、遵守するなかで、特色ある教育内容や方法を工夫・実践していることが明示されている。以降に学科・研究科毎に教育課程の概要を示す。

[illegible]

27

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

経営学科では、豊かな人間性にあふれ、考え方の異なる人たちとも協調して、時代の要請する企業経営上の、あるいは地域が直面している課題の解決に取り組み、地域の発展に貢献できるビジネスパーソンや産業人等の人材を育成することを目的とする科目を配置します。

教育課程の編成

経営学科ディプロマ・ポリシーを踏まえ、以下の教育課程を編成します。

1. 社会人として必要な豊かな人間性と社会性を育むため、1年次では多様な教養教育科目を学びます。さらに、2年次、3年次の専門教育科目にも上記関係科目を組み込み、継続した教育から実践力を身につけます。
2. ビジネスパーソンや産業人として活躍するために必要な専門教育科目は多岐にわたります。そうした専門教育科目を、科目間および基礎的科目と応用科目の関連性から専門領域別に整理して、自らの興味と関心に応じて学修を深めます。
3. 現代のビジネスパーソンや産業人は、問題を発見し解決する能力やプレゼンテーションおよびコミュニケーション能力が求められるようになっていきます。そこで、そのために役立つ実習科目や演習科目、フィールドワーク、卒業論文等もカリキュラムの重要な柱と位置づけて学修します。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

経営学科では、以下の素養を身につけ、所定の単位数を修得した者に卒業を認定し、学士（経営学）の学位を授与します。

1. 豊かな人間性を支える多様な教養教育科目と専門教育科目を修得している。
2. ビジネスパーソンや産業人として働くうえで必要な経営関係分野の専門知識を身につけている。
3. 現代社会は ICT（情報通信技術）がきわめて大きな影響を及ぼすようになっていることを理解し、企業経営や地域活動に役立つ実践的な経営情報関係知識と技術を修得している。
4. 現代経済はグローバル化が進展し、変化が激しく、不確実性が増している。そうした環境変化に対応し、問題を発見し解決する能力や、他者と協力して課題解決に取り組む協調性やコミュニケーション能力を身につけている。

＜社会福祉コース＞

字十(釋社學)

學士(福祿壽)

[illegible]

福祉学科 社会福祉コースカリキュラムマップ

専門科目 選択必修科目 必修科目

福祉学科 社会福祉コース 専門教育科目

1年次(福祉の基礎・概観について学ぶ)
前期 後期

2年次(知識・技能を習得)
前期 後期

3年次(専門性を高める)
前期 後期

4年次(職業人の育成)
前期 後期

福祉学科 社会福祉コース 専門教育科目
481808 481809

保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系

福祉学科 社会福祉コース 専門教育科目
381805 381806

保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系

保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系

保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系

保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系

保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系

保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系

保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系

保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系

保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系

保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系

保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系

保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系

保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系

保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系

保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系
保健福祉系 福祉系

学士(福祉学)

運動スポーツ部門	運動スポーツ指導員	運動スポーツ指導員	311802	運動見方論	321801
		スポーツ心理学	311803		
		チームマネジメント実習	311804		
		レクリエーション	311806	チームマネジメント実習	321806

＜介護福祉コース＞

[illegible]

[illegible]

学士(福祉学)

[illegible]

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

福祉学科カリキュラムポリシー

福祉学科では、社会福祉の根底にある理念や哲学（価値、態度）、社会福祉の政策・制度論（知識）、および援助方法（技能）に関する科目と、人間力（知力、実践力、気力、体力、コミュニケーション力）を高め、社会で活躍しうる職業人を育成することを目的とする科目を配置します。

また、実習・演習科目を重視し、1年次生から4年次生まで系統的に実習できるように科目を配置し、児童・障害者・高齢者、精神保健福祉の諸施設、公的機関、民間福祉団体等で実習することにより、必要な知識、態度、技能を身につけます。

教育課程の編成

福祉学科ディプロマ・ポリシーを踏まえ、以下の教育課程を編成します。

1. 社会福祉コースでは、社会福祉士国家試験受験資格を取得するための指定科目が配置されたカリキュラムとします。介護福祉コースでは、介護福祉士国家試験受験資格を取得するための指定科目が配置されたカリキュラムとします。
2. 少人数教育を重視し、1年次から4年次までの「基礎演習」「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」と一貫したカリキュラムを編成し、基礎から研究までの連続性を重視します。
3. 福祉関係国家試験受験資格（社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士）を取得します。
4. 健康・医療・福祉に関連する外部業界団体認定諸資格取得を支援します。
5. 学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うインターンシップを実施します。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

福祉学科ディプロマポリシー

福祉学科では、以下の素養を身につけ、所定の単位数を修得した者に卒業を認定し、学士（福祉学）の学位を授与します。

1. 現代社会の諸問題と社会福祉の基本的な構造や機能、また人間の行動と社会システムに関する知見について理解できる。（知識・理解）
2. 福祉現場で生じているさまざまな課題について論じ、適切な対応を考えることができる。（思考・判断）
3. 人権と社会正義の原理に基づく社会福祉の援助観を理解し、福祉サービス利用者の置かれている状況に共感できる。（価値）
4. 社会福祉の援助方法を理解し、現代社会に直面する社会問題を解決する援助者（ソーシャルワーカー、ケアワーカー）としての専門的技能を身につけることができる。（技能）
5. 実践を省察し、自己の学習課題を明確にし、理論と実践を結びつけた学習ができる。（態度）

こども学科 カリキュラムマップ（平成 31 年度）																											
1年次（キャリアを構築する） 前期	2年次（キャリアを構築する） 前期	3年次（キャリアを構築する） 前期	4年次（キャリアを構築する） 後期																								
保育原理 111101 121101 教育心理 111102 121102 保育心理学 111103 121103 幼児理解 111104 121104 基礎演習Ⅰ 131101	保育実習 121101 121102 子ども総合的学習 121103 特別支援教育論 121104 基礎演習Ⅱ 231101	専門演習Ⅰ 331101 保育カリフォルニア演習Ⅲ(各2回) 321201 保育カリフォルニア演習Ⅳ(小) 321202	専門演習Ⅱ（卒業研究発表含む） 431101 保育カリフォルニア演習Ⅴ(各2回) 421201 保育カリフォルニア演習Ⅵ(小) 421202																								
① 多様な価値観と認識し、子どもと共に自ら学び育ちつづける態度と知識を身に付けていく。																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>子ども発達科目</th><th>社会福祉</th><th>子ども発達科目</th><th>子育て支援</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子どもの発達と栄養Ⅰ 212203</td><td>社会的養護 212202</td><td>子ども発達支援理論 312201</td><td>子育て支援 312201</td></tr> <tr> <td>子どもの発達と栄養Ⅱ 222204</td><td>社会的養護 212202</td><td>子どもの健康と安全 312202</td><td></td></tr> <tr> <td>子どもの発達と栄養Ⅲ 222205</td><td>社会的養護 222203</td><td>子どもの健康 312203</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>社会的養護 222203</td><td>子どもの健康と安全 312204</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>ボランティア実践論 312205</td><td></td></tr> </tbody> </table>				子ども発達科目	社会福祉	子ども発達科目	子育て支援	子どもの発達と栄養Ⅰ 212203	社会的養護 212202	子ども発達支援理論 312201	子育て支援 312201	子どもの発達と栄養Ⅱ 222204	社会的養護 212202	子どもの健康と安全 312202		子どもの発達と栄養Ⅲ 222205	社会的養護 222203	子どもの健康 312203			社会的養護 222203	子どもの健康と安全 312204				ボランティア実践論 312205	
子ども発達科目	社会福祉	子ども発達科目	子育て支援																								
子どもの発達と栄養Ⅰ 212203	社会的養護 212202	子ども発達支援理論 312201	子育て支援 312201																								
子どもの発達と栄養Ⅱ 222204	社会的養護 212202	子どもの健康と安全 312202																									
子どもの発達と栄養Ⅲ 222205	社会的養護 222203	子どもの健康 312203																									
	社会的養護 222203	子どもの健康と安全 312204																									
		ボランティア実践論 312205																									

39

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

こども学科では、ディプロマ・ポリシーで設定されている資質・能力を備えた保育者・教育者を育成することを目的として、以下の4領域にわたって科目を配置します。

- A. こども学基盤科目（基盤科目）
- B. 保育・教育の理論に関する科目（理論科目）
- C. 保育・教育の内容・方法・技術に関する科目（内容・方法・技術科目）
- D. 保育・教育の実践に関する科目（実践科目）

各自の志望するキャリアに応じて所定の科目を履修し単位を修得することによって、保育士資格、幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状を取得することができます。

教育課程の編成

こども学科ディプロマ・ポリシーを踏まえ、以下の教育課程を編成します。

- 1. キャリアを模索する（1年次）
将来のキャリアを模索することができるように、一般教育科目および基盤科目を中心に編成し、地域・社会における保育・教育現場を体験する機会を提供します。
- 2. キャリアを選択する（2年次）
興味・関心・将来構想に基づいてキャリアを選択し、実践のための知識と技能を獲得することができるように、理論科目および内容・方法・技術科目を中心に編成し、保育・教育現場の体験を積み重ねる機会を提供します。
- 3. キャリアを実感する（3年次）
志望するキャリアを実感し、将来構想を具体化することができるように、内容・方法・技術科目および実践科目を中心に編成し、保育実習・教育実習の機会を提供します。
- 4. キャリアを実現する（4年次）
キャリアを実現することができるように、4年間の学修を振り返り、保育者・教育者として最小限必要とされる資質・能力を身につけることができたかどうかを確認するための科目を中心に編成し、さらなる学修に励む機会を提供します。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

こども学科では、保育者・教育者としての以下の資質・能力を備え、所定の単位数を修得した者に卒業を認定し、学士（こども学）の学位を授与します。

- 1. 多様な他者と協働し、子どもと共に自ら学び育とうとする素養と知識を身につけている。
- 2. 子どもの発達と学習を促進する支援と指導のための内容・方法・技術を身につけている。
- 3. 子どもを取り巻く諸課題の解決に向け、より良い地域・社会の創出に取り組もうとする態度と構えを身につけている。

(健康スポーツ科学科)

健康スポーツ科学カリキュラムマップ				必修科目		専門科目		選択科目		専門演習Ⅰ・Ⅱは4単位	
健康スポーツ科学科の目標		1年次 (基礎からのスポーツ習得)		2年次 (基礎と専門のスパイラル発展)		3年次 (専門解決への専門アプローチ)		4年次 (問題・課題解決)			
健康スポーツに関する知識及び社会人として必要とされる「マナー」「文書力」「関係力」「コミュニケーション力」「プレゼンテーションスキル」や「Word」「Excel」「Power Point」「統計処理」など必要能力を身につけます。	関連する資格	基礎演習		スポーツ基礎		スポーツ基礎		スポーツ基礎		スポーツ基礎	
		115101	115101	スポーツ社会学	213301	スポーツ社会学	223301	スポーツ社会学	323301	スポーツ社会学	323301
		112201	122101	健康心理学	213301	健康心理学	223301	健康心理学	323301	健康心理学	323301
		112301	122301	身体活動科学	213301	身体活動科学	223301	身体活動科学	323301	身体活動科学	323301
健康スポーツの知識	関連する資格	基礎演習Ⅰ		基礎演習Ⅱ		基礎演習Ⅲ		基礎演習Ⅳ		基礎演習Ⅴ	
		121101	121101	健康心理学Ⅱ	223301	健康心理学Ⅱ	223301	健康心理学Ⅱ	323301	健康心理学Ⅱ	323301
		121103	121103	健康心理学Ⅲ	223301	健康心理学Ⅲ	223301	健康心理学Ⅲ	323301	健康心理学Ⅲ	323301
		121105	121105	健康心理学Ⅳ	223301	健康心理学Ⅳ	223301	健康心理学Ⅳ	323301	健康心理学Ⅳ	323301
健康スポーツの知識	関連する資格	基礎演習Ⅵ		基礎演習Ⅶ		基礎演習Ⅷ		基礎演習Ⅷ		基礎演習Ⅷ	
		211104	211104	健康心理学Ⅴ	223301	健康心理学Ⅴ	223301	健康心理学Ⅴ	323301	健康心理学Ⅴ	323301
		211105	211105	健康心理学Ⅵ	223301	健康心理学Ⅵ	223301	健康心理学Ⅵ	323301	健康心理学Ⅵ	323301
		211106	211106	健康心理学Ⅶ	223301	健康心理学Ⅶ	223301	健康心理学Ⅶ	323301	健康心理学Ⅶ	323301
健康スポーツの知識	関連する資格	基礎演習Ⅷ		基礎演習Ⅷ		基礎演習Ⅷ		基礎演習Ⅷ		基礎演習Ⅷ	
		243601	243601	健康心理学Ⅷ	223301	健康心理学Ⅷ	223301	健康心理学Ⅷ	323301	健康心理学Ⅷ	323301
		243602	243602	健康心理学Ⅷ	223301	健康心理学Ⅷ	223301	健康心理学Ⅷ	323301	健康心理学Ⅷ	323301
		243603	243603	健康心理学Ⅷ	223301	健康心理学Ⅷ	223301	健康心理学Ⅷ	323301	健康心理学Ⅷ	323301
健康スポーツの知識	関連する資格	基礎演習Ⅷ		基礎演習Ⅷ		基礎演習Ⅷ		基礎演習Ⅷ		基礎演習Ⅷ	
		243604	243604	健康心理学Ⅷ	223301	健康心理学Ⅷ	223301	健康心理学Ⅷ	323301	健康心理学Ⅷ	323301
		243605	243605	健康心理学Ⅷ	223301	健康心理学Ⅷ	223301	健康心理学Ⅷ	323301	健康心理学Ⅷ	323301
		243606	243606	健康心理学Ⅷ	223301	健康心理学Ⅷ	223301	健康心理学Ⅷ	323301	健康心理学Ⅷ	323301
健康スポーツの知識	関連する資格	基礎演習Ⅷ		基礎演習Ⅷ		基礎演習Ⅷ		基礎演習Ⅷ		基礎演習Ⅷ	
		243607	243607	健康心理学Ⅷ	223301	健康心理学Ⅷ	223301	健康心理学Ⅷ	323301	健康心理学Ⅷ	323301
		243608	243608	健康心理学Ⅷ	223301	健康心理学Ⅷ	223301	健康心理学Ⅷ	323301	健康心理学Ⅷ	323301
		243609	243609	健康心理学Ⅷ	223301	健康心理学Ⅷ	223301	健康心理学Ⅷ	323301	健康心理学Ⅷ	323301

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

健康スポーツ科学科では、「健康」、「スポーツ」、「教職」という3つの基幹科目の系統性を持ち、課題解決能力を持ったインテグリティの高い人材を育成することを目的とする科目を配置します。

教育課程の編成

健康スポーツ科学科ディプロマ・ポリシーを踏まえ、以下の教育課程を編成します。

1. （1年次）実践からのスポーツ再発見（ギャップの確認）
2. （2年次）実践と理論のスパイラル省察（問題や課題を自覚しながら工夫・努力する演習群の配置）
3. （3年次）問題・課題解決への専門的アプローチ（ゼミ色を活かした課題解決への取り組み）
4. （4年次）問題・課題解決に向けた取り組み（卒業論文作成過程を軸にした解決策の提案）

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

健康スポーツ科学科では、以下の素養を身につけ、所定の単位数を修得した者に卒業を認定し、学士(健康スポーツ科学)の学位を授与します。

1. 幅広い基礎的・専門的な知識を身につけ、それを理解している。
2. 健康スポーツ領域における知識を活用し、分析・考察できる力を身につけている。
3. 社会のなかで、健康で文化的な生活に貢献できる幅広い人間性を身につけている。

看護学科カリキュラムマップ

[illegible]

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

看護学科では、高い倫理観に裏づけされた感性を持ち、人間と環境を愛し、看護学の発展、国民の健康増進及び社会福祉に貢献しうる人材を育成することを目的とする科目を配置します。

教育課程の編成

看護学科ディプロマ・ポリシーを踏まえ、以下の教育課程を編成します。

1. 看護を实践するための基本となる能力、看護ケアの展開能力を修得する科目を設置します。
2. 看護実践能力を修得するための科目を配置します。
3. 保健師教育、教職課程は選択制とします。
4. 主体的な学び、継続的に看護を探究することができる能力を修得できる科目を設置します。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

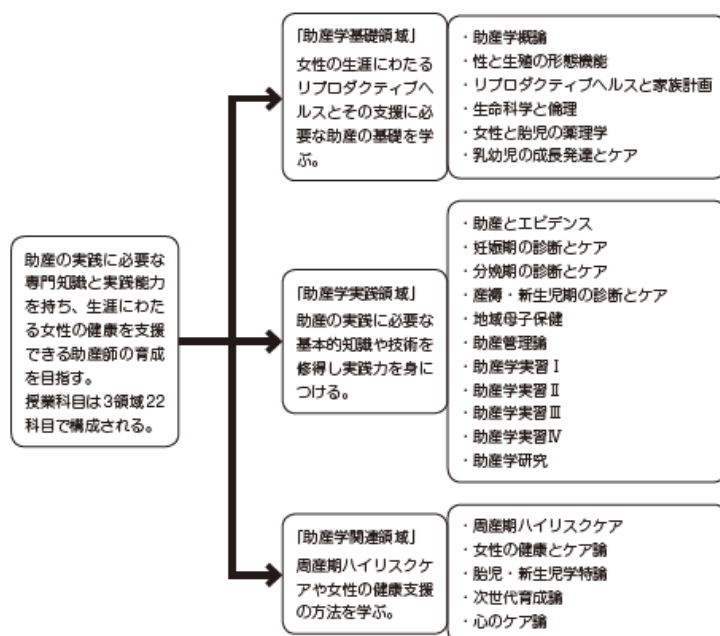
看護学科では、以下の素養を身につけ、所定の単位数を修得した者に卒業を認定し、学士（看護学）の学位を授与します。

1. 人間の尊厳を大切にし、倫理観に基づき、自覚と責任ある行動をとる能力を身につけている。
2. 看護の対象となる個人、家族、集団、地域社会の人がもっている健康問題・課題に取り組む能力を身につけている。
3. 保健・医療・福祉・教育の関係者、ケアにかかわる多職種と協働できる能力を身につけている。
4. 看護実践に必要な基本的知識・技術をもち、多様な場面において看護を实践することができる能力を身につけている。
5. 主体的に行動し、地域社会に貢献できる基礎的能力を身につけている。

(専攻科) 助産学専攻科

<助産学専攻科カリキュラムマップ>

<助産学専攻科 カリキュラムマップ>



カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

高度な専門知識と実践力を身につけ、女性の生涯を通じた健康支援ができる助産師を育成するために、次のような方針でカリキュラムを編成している。

1. 助産学基礎領域では、女性の生涯を通じて、性と生殖に焦点を当てて支援する助産の基礎を学ぶ。
2. 助産学実践領域では、妊産褥婦および新生児とその家族を支援する助産実践に必要な基本的技術を学ぶとともに、助産学の発展に寄与するための研究方法について学ぶ。さらに、助産学実習を通して最新の周産期医療に触れ、最新の技術を修得し、実践力を高め、保健・医療・福祉関係者との連携・協働、地域母子保健、助産管理について学ぶ。
3. 助産学関連領域では、生涯にわたる女性の健康支援のための方法やプロダクティブ・ヘルスについて学ぶ。

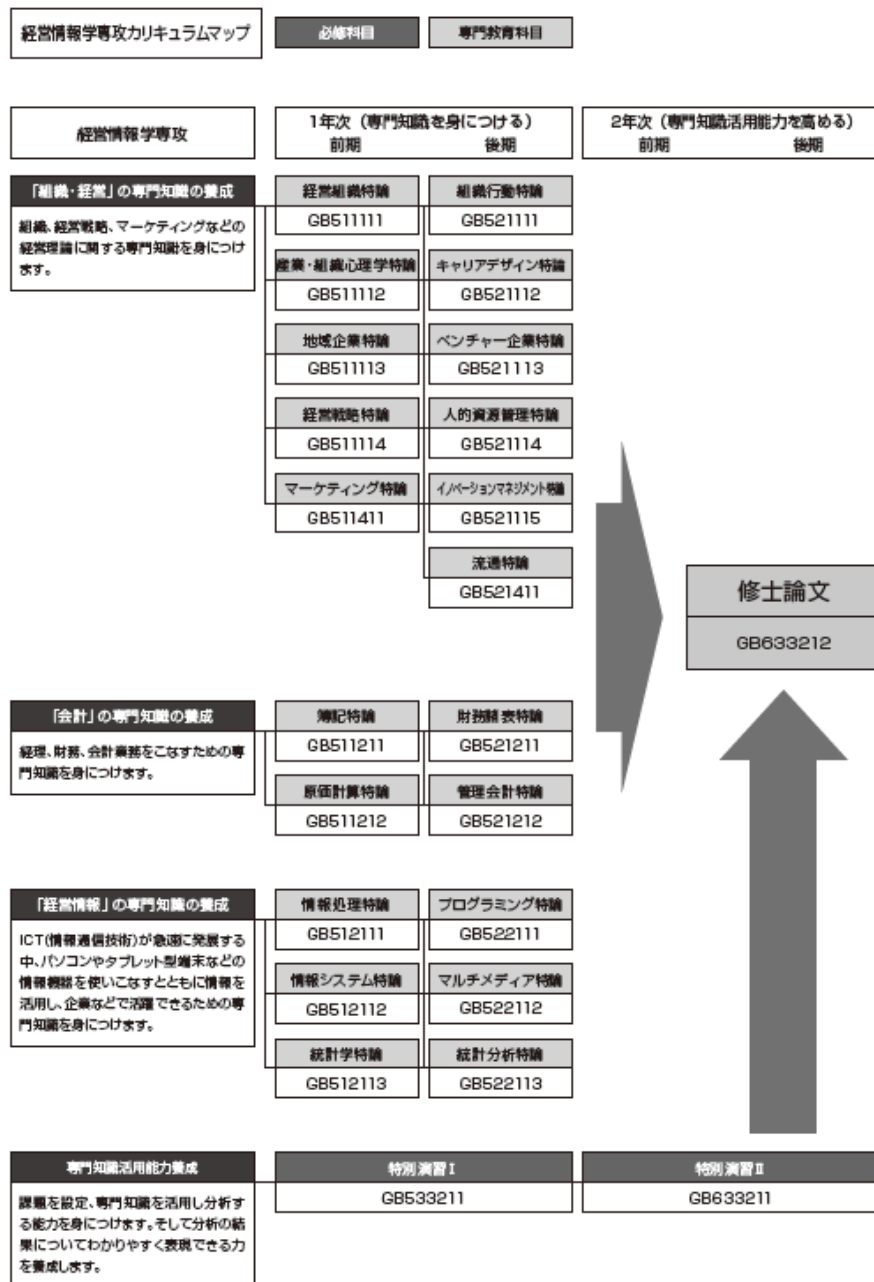
ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

助産学専攻科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を取得した学生は、卒業（修了）が認定される。（助産師国家試験受験資格が与えられる）

1. 助産の専門知識と実践力を身につけ、助産師としての基礎的能力を身につけた学生。
2. 豊かな人間性と倫理的感応力を培い、助産師としての役割、責任を果たす能力と思いやりのある心を持った学生。
3. 高度化する周産期医療に対応し、地域社会の母子保健の発展に寄与する能力を身につけた学生。
4. 助産師の責務と役割を自覚し、専門職業人として、生涯に亘り自己の資質の向上に努めることができる学生。

(大学院)

経営学研究科「経営情報学専攻（修士課程）」



経営学研究科は、現代社会のあらゆる組織が直面する課題を研究領域としており、理論と企業や組織に従事する人々の現実とが、激しくぶつかり合う場であるべきと考えています。

このような本研究科の理念は、つぎの2点です。

1. 教育においては、職場の問題を解決したいという学習意欲の高い社会人は、授業や研究指導を通じて知識を高め、職場や地域社会に戻っていくことを常に意識する。
2. 研究においては、これまでの理論だけでなく、現実には起こっている事象に目を向け、新たな理論化を目指す。

本研究科の理念の基で、多様なバックグラウンドを持つ人々を受け入れ、組織の将来を担う人材の育成とびんご地域への社会貢献を目指します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

経営学研究科は、あらゆる組織が直面する「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」の経営資源についてのマネジメント上の課題を研究領域としています。そして、そこでは、研究者の理論的知見と職業人の持つ現実とが交錯します。さらに、学部から直接進学した学生や留学生による、新鮮かつグローバルな視点により、世代や国を超えた議論が期待できます。

経営学研究科では、これらの結果から得られた知識が、修了生によって現場に還元されることを意識して教育に取り組み、以下の方針で教育課程を編成しています。

1. 経営学研究科で提供される授業科目は、「組織・経営」「会計」「経営情報」の3分野から成ります。
2. 指導教員の助言のもとで、自らの研究テーマに合致した科目を選択して履修することができます。
3. 研究指導では、主指導1名、副指導2名の教員による共同指導体制の下で、修士論文の作成に向けて指導を実施します。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

経営学研究科では、修士の学位授与の方針として、修士課程修了までに学生が身につけるべき知識と能力を以下のとおり定めています。

1. 経営学分野の専門知識を有する専門職業人として活躍するために必要な能力を有する者。
2. 経営学分野の専門知識を活かし、幅広い視点から地域社会の課題を把握・分析し、方向性を提示できる能力を有する者。
3. 経営学分野において、自立した研究者を目指して博士後期課程に進学できる能力を有する者。

スポーツ健康科学研究科〔スポーツ健康科学専攻（修士課程）〕

<スポーツ健康科学研究科 カリキュラムマップ>

	1年生	2年生
スポーツ健康科学	スポーツ健康科学特講 健康医学特講 健康医学演習	スポーツ健康科学特別研究
健康体力科学群	健康体力科学特講Ⅰ 健康体力科学演習Ⅰ 健康体力科学特講Ⅱ 健康体力科学演習Ⅱ 健康体力科学特講Ⅲ 健康体力科学演習Ⅲ 健康体力科学特講Ⅳ 健康体力科学演習Ⅳ	
スポーツ学群	スポーツ学特講Ⅰ スポーツ学演習Ⅰ スポーツ学特講Ⅱ スポーツ学演習Ⅱ スポーツ学特講Ⅲ スポーツ学演習Ⅲ スポーツ学特講Ⅳ スポーツ学演習Ⅳ コーチ学特講Ⅰ コーチ学演習Ⅰ コーチ学特講Ⅱ コーチ学演習Ⅱ	
教育学群	健康スポーツ領域教育学特講Ⅰ 健康スポーツ領域教育学演習Ⅰ 健康スポーツ領域教育学特講Ⅱ 健康スポーツ領域教育学演習Ⅱ 健康スポーツ領域教育学特講Ⅲ 健康スポーツ領域教育学演習Ⅲ 健康スポーツ領域教育学特講Ⅳ 健康スポーツ領域教育学演習Ⅳ	

本研究科では、ヒトの健康・体力を科学し、生理メカニズムを追求するカリキュラム構成で、身体活動を中心とした医学的・生理的・心理的メカニズムの研究を行い、専門分野の知識を極めた将来の教育者および指導者を養成します。

また、「体育科 教育学」「養護教育学」を通じて、実効性のあるカリキュラム開発を可能とするような保健体育および養護教育の専門的指導力を身につけます。

子どもから高齢者まで幅広い世代の健康・体力づくりや、限りある競技生活の中でいかに競技力を向上できるかを念頭にいた教育・研究を行い、高度専門職業人としての教育者・指導者を目指します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

健康とスポーツ分野に関する過去と現在の学問的系譜を理解し、次世代に向けての可能性を示唆できる高度専門職業人の育成を目的に、次の方針を示し、教育課程を編成する。

1. 健康とスポーツに関する広範で多様な知識を背景に、応用的・発展的な思考の獲得を目指す。
2. 各講義や演習を通じて、既習知識の活用能力、批判的・論理的思考能力、課題探求・課題解決能力、表現・コミュニケーション能力を備えた健康・スポーツの指導的な人材を育成する。
3. 少人数教育による双方向授業や実験・調査・事例研究などを組み入れ、実践的で生きた柔軟な授業を実施する。

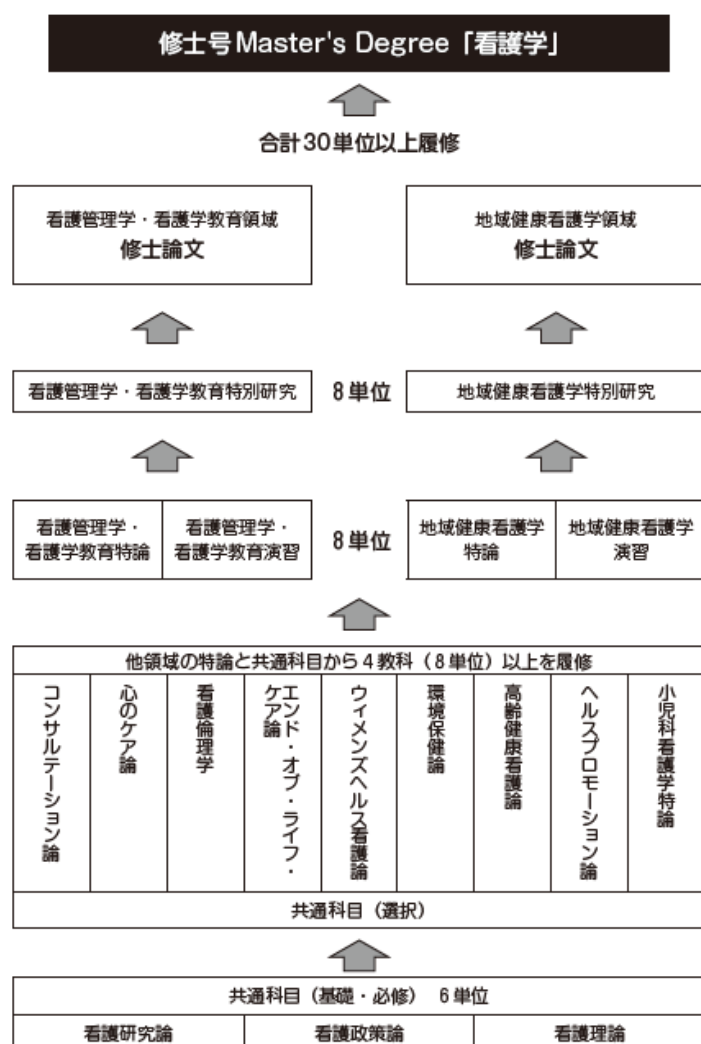
ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

本研究科を修了後も、時代とともに健康やスポーツに求められる価値は変化している。本研究科で習得した知識やスキルに固執・安堵することなく、常に時代の流れの先にある文脈を読み解き、さらには新奇的な知識を積極的に吸収し、発信できる人材が必要である。これらのことから本研究科の修了者には、下記のような能力の定着を求めています。

1. 現代社会の疾病構造変化に対応した専門職としての健康・運動指導者の養成
2. 豊富なスポーツ健康科学に知識を備えた保健体育・養護教諭の養成
3. 一般企業における健康・体力づくりに対応するプロモーター養成

看護学研究科〔看護学専攻（修士課程）〕

<看護学研究科 カリキュラムマップ>



本研究科では、少子超高齢化社会における看護専門職としての社会的責任を果たすため、医療の場を含む生活の場で必要とされる人々の QOL 向上を目指し、生活者の視点で広範・多様化する健康社会を支える高いレベルの実践能力と倫理感を備えた看護専門職を育成します。

本研究科では、建学の理念を基盤として、人間の尊厳とアドボカシー（advocacy）の志向に根ざし、看護活動の広範化・多様化に応じて、高いレベルの実践能力と倫理観を備え、根拠に基づいた看護を展開しつつ、研究成果を看護の現場に還元することを目指します。また、看護専門職の育成に関する諸問題を考察できる研究的な視点をもった優れた人材を育成します

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

1. 看護管理学・看護学教育領域：看護専門職として根拠に基づく看護実践を行い、継続した研究と生涯教育を実践すると同時に、医療・教育現場でリーダーシップを発揮し、問題解決能力を有する看護実践者・看護管理者・看護教育者を育成。
2. 地域健康看護学領域：看護専門職として根拠に基づく地域の看護実践を行い、継続した研究と生涯教育を実践すると同時に、生活を視野に入れた地域住民の心身の健康づくりに寄与できるよう、地域健康看護学を身に付けた看護実践者を育成。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

1. 専門職として根拠に基づく看護実践を行い、継続した研究と生涯学習を実践すると同時に、医療・教育現場でリーダーシップを発揮し、問題解決能力を有するもの。
2. 専門職として根拠に基づく看護実践を行い、継続した研究と生涯学習を実践すると同時に、生活を視野に入れた地域住民の心身の健康づくりに寄与する能力を有するもの。

【6】学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準

<単位認定と成績評価について>

単位

大学の授業は、すべて単位制を採用しています。

単位制とは、授業科目を履修し、定期試験等に合格することによって、単位を修得していく制度です。

修得した単位の合計が一定の要件を満たした学生に対して卒業が認定されます。

本学では、開講している授業科目の授業形態、授業方法、時間数等によって、それぞれ単位数が定められています。

単位数の算定方法

- (1) 各授業科目に対する単位数は、1単位の授業科目を45時間（予習・復習の時間を含む。）の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。

1日当たりの学修時間はおおよそ8時間

卒業要件＝124単位の場合

1単位＝45 時間（授業1時間＋予習・復習2時間）×15回

前期又は後期で修得すべき単位＝124単位÷4年間÷2期 16単位

前期又は後期の学修時間＝16単位×45時間＝720時間

1週間の学修時間＝720時間÷15回＝48時間

1日の学修時間 48時間÷6日＝8時間

- (2) 本学では、授業の方法に応じ、授業に必要な予習・復習の時間(図書館等で行う)を考慮して下表の基準により単位数を定めています。

授業の形式	基 準	単位数	授業回数	備 考
	1 時限 90 分で行われる授業は、 制度上 2 時間で計算します。			
講 義 演 習	15 時間又は 30 時間の授業をもって 1 単位。 (右記は、15 時間で 1 単位の場合)	1 単位	7 ～ 8	前期又は後期で 7 回 ～ 8 回。
		2 単位	15	前期又は後期で週 1 回。
		4 単位	30	前期又は後期で週 2 回。
				年間を通じて週 1 回。
実験・実習	30 時間又は 45 時間の授業をもって 1 単位。	学部・学科によって、時間の計算方法が違うので、授業回数は異なります。		

単位認定の時期

履修した科目の単位認定は、原則として試験によって行われます。

但し、科目によっては、出席・レポート等によって行われる場合があります。

通年科目の場合は、年間(後期終了)の成績で単位が認定され、半期科目(前期終了または後期終了)の場合は、半年間の成績で単位が認定されます。

原則として、いったん認定された単位の取り消しや成績評価の変更はできません。

成績評価と単位認定

<成績評価>

成績 評価	成績評価の内容	意 味	単位認定	Grade Point	備 考
秀	100点～90点	特に優れた成績	認 定	4点	
優	89点～80点	優れた成績	認 定	3点	
良	79点～70点	良好な成績	認 定	2点	
可	69点～60点	良好には達していないが合格 の成績	認 定	1点	
不可	59点～0点	合格と認められない成績	不認定	0点	不正行為をした場 合も含む。
放棄	受験資格はあったが、定期試験を受験しなかった 場合、あるいは授業の出席回数が不足していて、 受験資格がなかった場合		不認定	0点	

GPAについて

(1) GPA(Grade Point Average)は、アメリカを始め、諸外国の大学で採用されている国際的な成績評価システムのことです。

(2) 履修した全科目の成績評価に対して、Grade Pointを設定し、1単位あたりの平均を数値化するものです。

■ GPAの目的

学生は、自らの学業成績の状況を的確に知ることができるため、学生各自に応じた履修計画を立てることができます。

■ GPAを計算してみよう！

科目数等を検討する必要があります。

■ GPAの計算に伴う、履修上の注意点

定期試験を受験しなかった、または受験資格がなかったことにより、成績評価が「放棄」になった場合も「不可」と同様、Grade・Pointは「0点」としてGPAの値に反映されます。

しかし、履修登録をしたけど、授業内容が思っていたものと異なっていて履修を取り止めたい場合は、履修申請確認期間中又は履修辞退手続期間中に手続きをすれば、「放棄」とは見なされず、GPAの値には反映されません。

■ GPAの値が1.5を下回らないよう、注意すること。

卒業できるよう、段階的な措置（修学指導等）を行います。

<進級・卒業の要件>

年次別履修科目の上限及び進級・卒業要件は、各学部・各学科ともに「福山平成大学授業科目履修細則」で規定されており、全学教授会において進級・卒業判定を行なっている。また、1年間に履修できる単位数は、各学年いずれもが、前期と後期を合わせて48単位を超えることはできないし、学期毎（前期・後期）の履修上限は経営学部は24単位、福祉健康学部・看護学部は28単位と定められている。

本学の教育課程は、一般教育科目と専門教育科目に大別される。一般教育科目は、4年間で初年次教育科目、教養基礎科目、情報処理科目、外国語科目を含めて、経営学部・福祉健康学部は28単位、看護学部は25単位である。専門教育科目は、各学部で異なり、経営学部・福祉健康学部は96単位、看護学部は109単位である。各学年の進級要件を満たさないものは留年とし、在学中2回を超える留年及び同一年次に2回の留年は認められていない。

表 6.1 経営学部 経営学科

年 次		1	2	3	4
年次別必要単位数(累計)		56		90	124
一般 教育 科目	初年次教育科目	2		2	2
	教養基礎科目	12		18	18
	情報処理科目	2		2	2
	外国語科目	4		6	6
専 門 教 育 科 目		96			

表 6.21 福祉健康学部 福祉学科・こども学科

年 次		1	2	3	4
年次別必要単位数(累計)		30	56	88	124
一般 教育 科目	初年次教育科目	2		2	2
	教養基礎科目	18			
	情報処理科目	2		2	2
	外国語科目	6			
専 門 教 育 科 目		20	40	66	96

表 6.22 福祉健康学部 ・健康スポーツ科学科

年 次		1	2	3	4
年次別必要単位数(累計)		30	56	88	124
一般 教育 科目	初年次教育科目	2		2	2
	教養基礎科目	18			
	情報処理科目	2		2	2
	外国語科目	6			
専 門 教 育 科 目		36		60	96

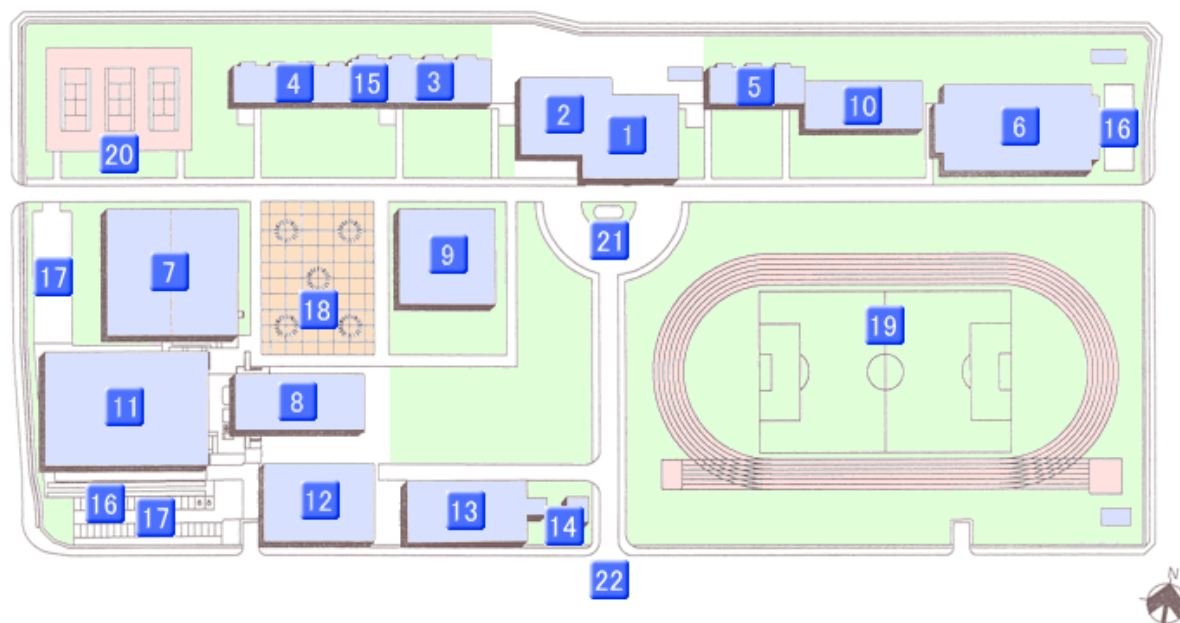
表 6.3 看護学部 看護学科

年 次		1	2	3	4
年次別必要単位数(累計)		32	78	118	134
一般 教育 科目	初年次教育科目	2		2	2
	教養基礎科目	15			
	情報処理科目	2		2	2
	外国語科目	6			
専 門 教 育 科 目		23	65	99	109

【7】校地、校舎等の施設及び設備その他教育研究環境に関すること

＜施設設備＞

本学の校地面積は次図に示すとおり 8,065,228 m²であり、校舎の床面積は 3,410,600 m²である。
校舎等の耐震化率は 100%である。



- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1 1号館 事務棟 | 12 12号館 看護学部棟 |
| 2 2号館 研究棟 | 13 13号館 こども学科棟 |
| 3 3号館 講義棟 | 14 守衛室 |
| 4 4号館 講義棟 | 15 学生ホール |
| 5 5号館 特別教室棟・コンピュータ演習室 | 16 駐輪場 |
| 6 6号館 第1体育館 | 17 駐車場 |
| 7 7号館 講義棟・トレーニングセンター | 18 プラザ |
| 8 8号館 食堂・売店 | 19 全天候型グラウンド |
| 9 9号館 図書館 | 20 テニスコート |
| 10 10号館 武道館・クラブハウス棟 | 21 噴水 |
| 11 11号館 第2体育館 | 22 正門 |

図 7.1 本学のキャンパス全体図

- 1) 運動場は、全天候型のウレタン舗装 400mトラック 6レーンとインフィールドに人工芝のサッカー場を備え、トラックの周辺には、棒高跳び、ビーチバレーボール用の砂場等が整備されている。更に夜間でも使用可能なように、4基の照明を設置している。グラウンド内休憩施設を整備した。
- 2) 体育館は第1、第2と二つあり、第1体育館は運動場と武道館・クラブハウス棟（10号館）に、第2体育館はトレーニングルーム等のある7号館にそれぞれ隣接している。特に、第2体育館は、国際大会に公式使用できるバレーボールコートが2面取れるようになっており、他にゲーム用バレーボール3面、バスケットボール2面、ハンドボール1面、フットサル1面、バドミントン8面が兼用コートとして使用可能である。さらに、第2体育館の玄関ホールには、クライミングウ

オールが設置され、2階には、器械体操（鉄棒、あん馬やつり輪等）、卓球、ボクシングジムの施設も整備されている。また、人工芝の夜間照明付きテニスコート4面、柔道・剣道専用の武道館がある。

- 3) 講義室は、3、4、7号館の講義棟に16室、看護棟に5室、図書館に2室の計23室を設置している。また、実習室は、2号館・看護棟に10室、こども学科棟に15室（ピアノレッスン室を含む。）の計25室を、ゼミ・演習室は、1・2号館と看護棟に12室を整備している。

平成28年3月には、2号館ゼミ室をアクティブラーニングに相応しい教室に改変し整備し、学生が主体的に自己学修、ディベートやプレゼンテーションが出来るようにするとともに多様な形態に展開できる机・椅子類と電子ホワイトボードを整備した。

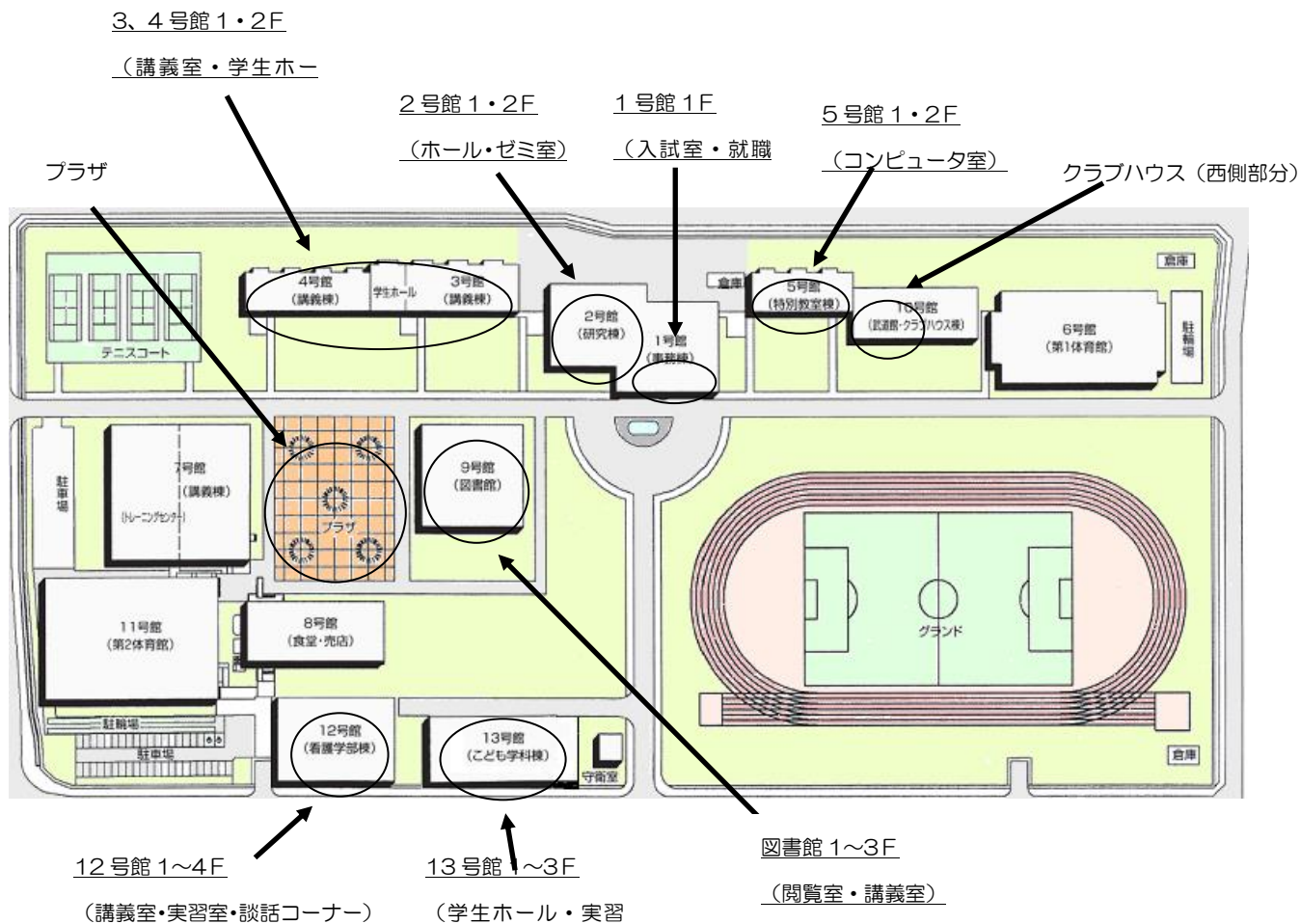
- 4) 附属図書館は、令和元年5月1日現在で蔵書数＝90,925冊、学術雑誌タイトル数＝522件を保有し、閲覧座席数＝200席である。開館時間は月曜日～金曜日の8時30分から19時30分、土曜日は16時30分まで、本学の学生だけではなく、平成30年度には135人の地域住民の利用に供している。また、学生の自主的な学習やグループ学習を支援するために、ラーニングコモンズ室を2室・語学学習室を1室整備されている。

- 5) 情報基盤センターは、教育、研究、大学事務等におけるICT活用の推進を目的として設置され、高度で先端的な情報システム基盤、情報セキュリティ等にかかる施策を行っている。情報基盤センターでは、全学生の情報活用能力の向上を図るために、5号館のコンピュータ室(4室)に123台のパソコンを設置している。授業等に使用される他、学生は授業時間以外に自由に使用することができる。上記コンピュータ室の他に、看護学部棟に58台、図書館閲覧室に検索用パソコン13台が設置されている。

- 6) 学内LANの整備により、すべての建物で有線によるインターネット接続が可能である。また、平成26年度から、学内での無線LANの利用が可能となっている。

平成29年度の入学生から、これらの環境を積極的に活用して、授業でのICT利用を推進する目的でノートパソコンの必携化に取り組んでいる。これに伴い無線ネットワーク設備の拡充、看護教育用シミュレーション機器の整備等を行っている。また、ノートパソコンの利用に適した設備・機器などを考慮し、コンピュータ室の改修を行っている。学内無線LANの使用可能エリアを次図に示す。

無線LAN使用可能エリア



7) 平成 21(2009)年度及び平成 22(2010)年度に、「履修指導システム」、「教職履修カルテシステム」及び「就職支援システム」を、学生の「学業成績データ」や「進路希望データ」に基づいてきめ細かい履修・就学指導と就職支援を行うことを目的に「学生支援総合システム」に改変した。さらに、看護学部において開発された看護実践能力到達度評価システムを加えて、学生支援総合システムとして平成 23(2011)年度から「ゼルコバ」の愛称で本格運用を開始している。ゼルコバはポータルサイトシステムとなっており、ユーザー（学生及び教職員）は履修支援、就職支援等のシステムだけでなく、掲示板、メッセージ転送、スケジュール管理、ファイル管理等の機能も使用できる。なお、ゼルコバは、平成 30 年度から新しい機能に対応した新システムに移行している。このゼルコバの管理・運用、ユーザーの使用は、すべて web ブラウザを使用して web ベースで行われる。学生は、学内無線 LAN システムを使用して、学内からアクセス可能になっている。また、学外からもアクセス可能であるので、履修登録、履修確認、成績確認等、自宅からも使用できる環境を整えている。

平成 27(2015)年度から、web 活用とモバイル機器利用に親和性の高い「学修支援システム」(LMS: Learning Management Sysytem)として「セレッソ」を追加導入した。授業では、ノートパソコンやスマートフォン等による出席管理、小テスト、レポート提出等に活用され、学生ポートフォリオも

作成できる。また、自宅学習にも利用でき、アクティブラーニングの作業環境のひとつにもなっている。平成 30 年度からは、セレッソに対応した「簿記」、「IT パスポート」、「TOEIC」、「SPI」等の e ラーニング教材を導入し、資格取得、就職活動等の支援に活用している。

平成 28 年度からは、学生、教職員向けに Office 365 Pro Plus などのオフィス製品や関連するクラウドサービスが利用できる「Office 365」を整備した。

本学の学生・教職員は、Office365 ポータルサイトへサインインすることにより、Office365ProPlus などのオフィス製品や関連するクラウドサービスを利用できる。

(情報システムの整備状況は以下の通り)

■学生ポータルシステム Zelkova (ゼルコバ)



学生支援総合システム (学生ポータルシステム) として Zelkova (ゼルコバ) を整備している。教務、学生生活、進路・就職など、平大生に必要な情報を幅広く提供するポータルシステムである。

■学修支援システム Cerezo (セレッソ)



学修支援システムとして Cerezo (セレッソ) を整備している。大学の授業や家庭での予習・復習など、学修を総合的に支援するシステムである。出席の確認、教材の配布、お知らせの掲示、レポートの提出、小テストの実施、質問の受付・回答などを行う。さらに、入学前教育に Cerezo を活用している。

平成 30 年度から、セレッソに対応した e ラーニング教材を導入した。

■オフィス製品・関連クラウドサービス Office 365 (オフィス 365)



学修・教育環境の整備、学生サービスの向上などを図る目的で、マイクロソフトと教育機関向けソフトウェアライセンス総合契約を締結している。

学生・教職員は、Office365 ポータルサイトへサインインすることにより、Office 365 などのオフィス製品や関連するクラウドサービスを利用できる。

＜施設設備の維持・運営＞

- 1) 本学の施設設備の全般的な管理運営は、事務局（管理＝庶務課、運営＝学生課）が担当している。
本学の敷地は、校舎、グラウンド、通路以外は全面芝生が敷き詰められ、桜と欒並木、クスノキやバラの花壇もあり、また、校舎は低層で校舎間の空間も広いので、ゆったりとした快適な環境で、学生が学習やクラブ活動に専念できるようになっている。
- 2) 各講義室・トイレは毎日清掃し、清潔感を保持しており、女子学生から喜ばれている。また、女子学生が半数以上になったので、学園内を明るくするために夜間照明の整備も進めている。
- 3) 建物は建築基準法の規定により、毎年1回、構造、防火等建築設備に関して現状調査を行っており、上水、下水の水質検査や昇降機も法令にのっとり、定期的に点検調査を実施している。また、平成25年度には障害学生のために、8号館にエレベーターの設置などバリアフリー化も進めている。
- 4) グラウンド(休憩施設含む)、テニスコート、体育館・武道館、トレーニング室等体育施設は、体育施設運営委員会が学生課と連携しながら管理運営に当たっている。それら施設の使用心得は、学生便覧に記載し、周知徹底を図っている。
- 5) 附属図書館については、利用の手引き・心得を学生便覧に記載するとともに、新入生には、毎年4月のオリエンテーション時に利用のための講習会を開催している。
- 6) 情報サービス施設の維持運営には、コンピュータ準備室を設置し、大学教育センターの助教・助手を常駐させることで、機器の適切な操作や管理を行うとともに、必要に応じて順次新型機器への更新を進めている。

【8】授業料、入学料等

【学 部】

	経 営 学 部		福 祉 健 康 学 部		看 護 学 部	
	入学時納入	後期納入	入学時納入	後期納入	入学時納入	後期納入
(納入金) 入 学 金	円 330,000	円	円 330,000	円	円 330,000	円
授 業 料	(前期分) 400,000	(後期分) 400,000	(前期分) 430,000	(後期分) 430,000	(前期分) 700,000	(後期分) 700,000
小 計	730,000	400,000	760,000	430,000	1,030,000	700,000
(受託徴収金) 学友会費	5,000		5,000		5,000	
後 援 会	20,000		20,000		20,000	
小 計	25,000		25,000		25,000	
合 計	755,000	400,000	785,000	430,000	1,055,000	700,000

学部生の後援会費については、1年目 20,000 円、2年目 15,000 円、3年目以降 10,000 円とする。

【大学院】

	経 営 学 研 究 科		ス ポ ー ツ 健 康 学 科 研 究 科		看 護 学 研 究 科	
	入学時納入	後期納入	入学時納入	後期納入	入学時納入	後期納入
(納入金) 入 学 金	円 200,000	円	円 200,000	円	円 200,000	円
授 業 料	(前期分) 320,000	(後期分) 320,000	(前期分) 350,000	(後期分) 350,000	(前期分) 450,000	(後期分) 450,000
小 計	520,000	320,000	550,000	350,000	650,000	450,000
(受託徴収金) 学友会費	5,000		5,000		5,000	
後 援 会	10,000		10,000		10,000	
小 計	15,000		15,000		15,000	
合 計	535,000	320,000	565,000	350,000	665,000	450,000

【9】大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

＜学生の修学・就職・生活指導＞

（クラス担任制度及び学生委員会）

本学では、開学以来、学生の入学時から卒業まで、クラス担任教員が修学・生活指導・就職指導に関する相談・助言を行うことにしている。一時的には、この教員が学内の保証人的な役割を果たす。

また、全学的な組織としては、学生委員会があり、クラス担任教員や事務局と連携し、キャンパス内の食堂のメニュー調整、喫煙エリア、コンビニ・売店及び銀行の現金自動支払機の設置など、学生の快適な学園生活の改善に努めている。また、かざすだけで学内の食堂、コンビニの清算が可能な後払い型電子マネー機能を搭載し授業の出欠管理、図書館の入退館の多機能な学生証を整備した。

＜経済的支援＞

（1）学校法人福山大学奨学生

本学では、学業成績優秀、品行方正であり、他の学生の模範になると認められる者に奨学金を授与して積極的にその育成に資することを目的とした4種類の独自奨学制度を設けている。

①一般奨学生

本学に入学後、2年次以上の者における前年度の学業成績優秀な者のうち、福山平成大学学生委員会で毎年若干名を選考し、当該年度の授業料のうち、30万円を減免する。

②特別奨学生 A

特別奨学生 A は、推薦入試（A 日程・B 日程）、一般入学試験【前期（A 日程・B 日程）・後期】、大学入試センター試験利用入試（前期・後期）の合格者で、入学試験の成績が優秀な者のうちから選抜する。一般入試（前期 A 日程）は約 30 名、その他の入試は若干名として選抜する。特別奨学生 A として入学する者について、入学年次の授業料について 100 分の 40 を減免するとともに、正規の修業年限の間、継続して適用する。ただし、2 年次以降において、前年度各学科で定められた単位数以上を取得し、かつ、前年度単位取得科目の平均値が 75 点以上の場合に限る。

③特別奨学生 B

特別奨学生 B は、指定校入学試験の合格者のうち、高校に通知する評定平均値を上回る者を選考し、入学金を 15 万円に減免するとともに、入学年次の授業料について看護学部には 100 分の 30 を、その他の各学部にあつては、100 分の 40 を減免し、正規の修業年限の間、継続して適用する。ただし、2 年次以降において、前年度各学科で定められた単位数以上を取得し、かつ、前年度単位取得科目の平均値が 75 点以上の場合に限る。

（2）大学院奨学金

学校法人福山大学大学院奨学生制度に基づき、大学院に在学し、学業成績優秀で、品行方正、かつ身体剛健な者のうち、大学院・学術研究委員会で毎年、各研究科の各学年につき若干名を選考する。

（1）修士課程に進学する者は、授業料の 70%を免除する。

（2）修士課程に在籍し、同課程で進級する者は、授業料の 30%を免除する。

ただし、それぞれの期間は、1 年間とし更新することができる。

（３）日本学生支援機構奨学生

令和元年７月現在の日本学生支援機構奨学金を貸与された学生数は次のとおりであり、全学生の 58.4% の者が貸与されている。

表 9.1 日本学生支援機構奨学生採用状況

(単位:人)

種別／学年	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	合計
第 1 種奨学金	90	86	69	54	299
第 2 種奨学金	86	92	100	103	381
合計	176	178	169	157	680

（４）その他の奨学金制度

上記以外に、次の奨学金を受けている者がいる。

文部科学省私費外国人留学生学習奨励給付制度、ひろしま国際センター、熊平文化財団、山口県ひとづくり財団、あしなが育英会、福山市奨学資金、島根県育英会、島根県看護学生修学資金貸与制度、鳥取県看護職員修学資金、青森県教育厚生会奨学金 etc.

（５）アルバイトの紹介

本学では経済的理由などから、止むを得ずアルバイトをしなければならない学生のために、学生課において企業などからアルバイト求人の申込みがあれば、その求人票を学生ホールの掲示板に掲示して紹介している。但し、危険を伴う作業や深夜に及ぶ業務並びに風俗営業等は禁止している。

（６）入学金減免制度

同窓生の子弟及び在学生の兄弟姉妹に対して、就学時の経済的支援のため、入学金を減免する制度を実施している。同窓生及び在学生とは本学に加え福山大学も含まれている。本学の入学金は 330,000 円であるが、減免後は 200,000 円となる。

<課外活動への支援>

・クラブ活動助成

学生のクラブ活動には、大学、後援会及び同窓会で助成している。

<健康相談等>

（１）保健管理センター

学生の健康管理のために保健室を設けており、月曜日から土曜日には看護師免許を持った職員が常駐している。これ以外の時間帯は学生課で対応している。学生には体調が悪くなった時や怪我をした時には、このセンターを利用することを勧めている。また、悩みのある学生には月・木曜日に学生相談室を開室しており、学外の非常勤カウンセラー１名（臨床心理士資格あり）が、学生や教職員、保護者の相談に対応している。

定期健康診断は毎年２回４月上旬および１１月中旬に実施し、看護師職員から診断結果により、学生に健康指導を行う。また、就職活動に必要な健康診断証明書を発行できるようにしている。

（２）学生教育研究災害障害保険

教育研究活動中の不慮の災害事故補償のために「学生教育研究災害障害保険」に大学及び後援会の負担で全学生を加入させている。また、スポーツ活動中や臨地実習・教育実習中の事故等のため、賠償責任保険に加入することを勧めている。

＜学生の意見汲み上げシステム＞

毎年、学生生活に関するアンケートを１～４年生を対象に行っている。アンケート内容は、「生活での悩み」、「通学状況」、「生活状況」、「アルバイト状況」、「学生の意見・要望」などである。その集計結果を保証人懇談会資料に掲載し、保証人に配付している。特に、「学生の意見・要望」については、できるものから改善している。

授業アンケート、担任制度、保証人懇談会等は学生サービスに対する学生や保証人の意見等を汲み上げるシステムとなっている。

【10】沿革

昭和 50 年 1 月 10 日	学校法人福山大学及び福山大学設置認可 理事長、学長に宮地茂就任
平成 4 年 4 月 30 日	学校法人福山大学、福山平成大学設置認可申請
平成 5 年 12 月 21 日	福山平成大学「経営学部経営情報学科（入学定員 130 人、編入学定員 20 人）、同経営法学科（入学定員 100 人、編入学定員 20 人）、同経営福祉学科（入学定員 80 人、編入学定員 20 人）」設置認可
平成 6 年 4 月 1 日	福山平成大学開学、初代学長に久留島陽三就任
平成 6 年 5 月 1 日	学校法人福山大学総長に宮地茂理事長が就任
平成 7 年 4 月 1 日	学校法人福山大学理事長に宮地尚就任
平成 11 年 4 月 1 日	第二代学長に齊藤尚夫就任
平成 11 年 12 月 22 日	福山平成大学大学院「経営学研究科（修士課程）経営情報学専攻（入学定員 5 人）、同経営法学専攻（入学定員 5 人）」設置認可
平成 12 年 4 月 1 日	福山平成大学大学院経営学研究科、経営情報学専攻、経営法学専攻開設
平成 14 年 3 月 28 日	福山平成大学経営学部経営福祉学科に「保育士を養成する学校その他の施設として指定」認可
平成 14 年 4 月 1 日	第三代学長に宮地尚就任
平成 14 年 7 月 1 日	第四代学長に大門隆就任
平成 14 年 9 月 4 日	「経営法学科」を「ビジネス法学科」に平成 15 年 4 月 1 日から学科名称変更認可
平成 15 年 7 月 24 日	経営福祉学科を改組し、福祉健康学部福祉学科（入学定員 80 人）、健康スポーツ科学科（入学定員 70 人）届出認可
平成 16 年 4 月 1 日	福祉健康学部福祉学科、健康スポーツ科学科開設
平成 17 年 4 月 1 日	第五代学長に田口則良就任
平成 18 年 4 月 1 日	福祉健康学部福祉学科社会福祉学専攻（入学定員 40 人）、幼児保育学専攻（入学定員 40 人）開設
平成 18 年 11 月 30 日	看護学部看護学科（入学定員 80 人）設置認可
平成 19 年 4 月 1 日	看護学部看護学科開設

平成 19 年 7 月 27 日	「経営情報学科」を「経営学科」に名称変更の届出ならびに福祉健康学部福祉学科社会福祉学専攻、幼児保育学専攻を改組し、福祉学科(入学定員 60 人)、こども学科(入学定員 50 人)設置届出認可
平成 20 年 3 月 24 日	日本高等教育評価機構より第三者評価適合認定
平成 20 年 4 月 1 日	福祉健康学部こども学科開設
平成 20 年 10 月 31 日	大学院スポーツ健康科学研究科(修士課程)スポーツ健康科学専攻(入学定員 5 人)設置認可
平成 20 年 11 月 8 日	学校法人福山大学 宮地茂記念館開設記念式典挙行
平成 20 年 12 月 24 日	大学院看護学研究科(修士課程)看護学専攻(入学定員 5 人)設置認可
平成 21 年 4 月 1 日	大学院スポーツ健康科学研究科(修士課程)、看護学研究科(修士課程)開設
平成 22 年 4 月 1 日	小学校教諭一種免許状授与機関の認可、大学院スポーツ健康科学研究科及び看護学研究科に専修免許状授与機関の認可
平成 23 年 4 月 1 日	助産学専攻科(入学定員 10 人)開設
平成 23 年 6 月 1 日	学校法人福山大学理事長に清水厚實就任
平成 24 年 4 月 1 日	看護学部到新保健師養成課程の認可
平成 27 年 3 月 10 日	日本高等教育評価機構より第三者評価適合認定
平成 29 年 4 月 1 日	第六代学長に坪井 始就任
平成 30 年 5 月 27 日	学校法人福山大学総長に清水厚實就任 学校法人福山大学理事長に鈴木省三就任

【1 1】上記以外の情報（産学官連携、社会貢献活動、大学連携、高大連携等の推進について）

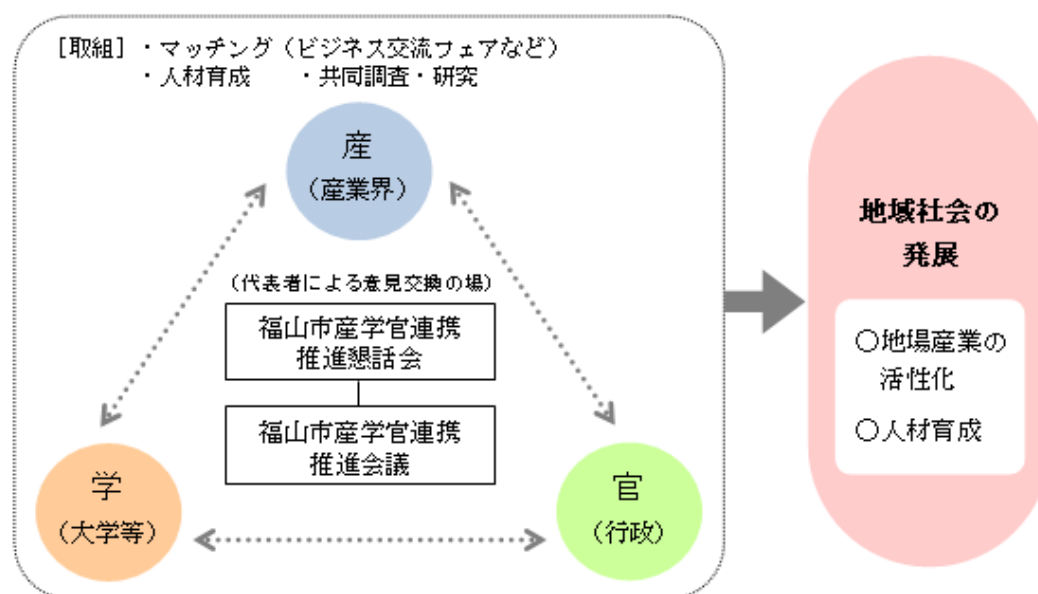
（産学官連携）

福山市産学官連携推進懇話会

産学官が経済、教育、福祉など幅広い分野で連携し、地域社会の発展を支えていくことができるようにするため。2013年（平成25年）2月12日に設置されました。

平成26年4月7日 福山市において、産学官が経済、教育、福祉など幅広い分野で連携し、地場産業の活性化や地域社会に貢献できる人材育成等に取り組むことで、地域社会の発展をめざし整備されました。

（1）体制



【構成団体】

産	福山商工会議所，神辺町商工会，沼隈内海商工会，福山北商工会，福山あしな商工会
学	福山大学，福山平成大学，福山市立大学，福山職業能力開発短期大学校
官	福山市経済部，企画政策部

（2）主な取組

「若者の就職観・結婚観などに関するアンケート」を実施しました

福山市産学官連携推進会議における共同研究として、福山市内の学校に在籍する現役の大学生等を対象に、就職観等のアンケート調査を実施し、その集計結果をまとめました。

トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム～地域人材コース

福山市の企業、地方公共団体及び高等教育機関等で構成する「福山市グローバル人材育成事業推進委員会」が2018年度から始めた福山市内の大学に在籍する学生及び福山市内在住の大学生対象の1ヶ月から半年の短期留学制度です。

選ばれると渡航費、授業料、生活費のほとんどが支給されます。2018年度は本学から2名の学生が選ばれ、ニュージーランドとデンマークに留学しました。

(社会貢献活動)

福山平成大学公開講座

福山平成大学は開学以来、教員の研究成果を地域社会に公開し、社会の人々に、生活及び職業上の専門的な知識と一般教養を高める学習機会を提供し、生涯学習の振興と文化的、産業・経済的な発展に寄与するよう開催しています。

■平成30年度事業実績

	タイトル	参加者数
第1回	高齢期に安心して住み続けられる住まいとは	93
第2回	地域マネジメントにおけるマーケティング思考の可能性	84
第3回	「2025年問題」との付き合い方	102
第4回	スポーツと“Ikigai”-2025年を受け入れる-	83
第5回	人生100年時代を見据えた健康づくり	97
合計		459

会場：福山平成大学7号館大講義室

後援：福山市 福山市教育委員会

学科独自の社会連携事業

(1) 経営学科 社会連携事業について (平成30年度実績)

1. 広島県中小企業家同友会との「産学連携に関する協定」

(目的)

同会は、各都道府県単位で展開する中小企業団体で、「良い会社をつくろう」「良い経営者になろう」「良い経営環境をつくろう」という三つの目的に沿って、経営の近代化、地域貢献、人材育成などに、積極的に取り組んでいる。同会との連携を通じて、地元企業と研究者、学生との交流や地域経済、まちづくりのための事業などの共同実施を通じて、福山平成大学の地域貢献・地域連携を推し進めていく。

(連携事業)

会員を対象とした公開講座や講習会の共同開催等、その他の連携事業を展開予定

2. びんご圏域連携グローバル人材育成事業

(目的)

福山市の補助、地元企業の協力のもと、備後地域にある4大学（福山平成大学、福山大学、福山市立大、尾道市立大学）が連携し、グローバル人材育成をねらいとした様々なプログラムを実施。

(連携事業)

- ・連携大学の学生、及び備後圏域在住、勤務の社会人を対象とした公開講座を、上記4大学共同で実施。（平成30年度）
- ・本学からは経営学部の5名の学生が、8日間の日程でタイ王国への海外研修に参加。現地に進出している備後地域の企業の営業所・工場などを視察（平成30年度）

3. びんご経営リサーチセンター

(目的)

当センターは、備後地域の企業とその経営環境に係わる資料収集、調査研究の成果の公表、備後地域企業の経営活動の支援を目的としている。

(連携事業)

当センター・人事戦略研究会による人事問題に関する講演会（2回）を開催（福山市、福山地方雇用対策協議会との共催）

4. 福山地方雇用対策協議会との連携事業

(目的)

同会は、備後地区企業の雇用を促進するために設立された協議会であり、約400社が雇用や人材育成などに、積極的に取り込んでいる。同会および福山市役所産業振興課との連携を通じて、地元企業と福山平成大学の地域連携を推し進めていく。

(連携事業)

会員企業の人事責任者を対象として、福山市役所産業振興課とも連携した公開講座や研究会を通じて企業との連携を深めている。

5. 福山市生涯活促進躍地域連携協議会への参加

(目的)

本協議会の目的は、高年齢者及び地域のニーズ等を踏まえた創意工夫のある高年齢者の雇用・就業機会の確保に資する事業を実施し、高年齢者が当該計画区域における社会で活躍できる環境整備を行うことである。会員は福山市、福山商工会議所、福山地方雇用対策協議会のほか、福山大学、福山平成大学である。

(連携事業)

高年齢者が備後地域において社会で活躍できる環境整備のための調査および理論に基づいた提案を行うことであり、これにより人材が不足している地元企業との連携を深めている。

6. じばさんフェア2018

(目的)

(一財) 備後地域地場産業振興センターにおいて、備後地域における、新たなビジネスチャンスの創出や、新製品開発、新事業展開などを支援することを目的として開催。地域企業の製品やサービス、大学等教育機関の研究成果等の展示などを実施

(連携事業)

経営学科の紹介や取り組みを紹介するコーナーを設置

7. 産学官連携によるアクティブラーニング

(目的)

学生と企業、地域への双方向型の授業を通じて、地域貢献・地域連携を進めていく。

(連携事業)

- ・地域マネジメントの授業の一環として、神石高原町においてフィールドワークを実施
- ・マーケティングベーシックの授業の一環として、地元企業とのコラボ商品企画を実施

(2) 福祉健康学部 福祉学科 社会連携事業について(平成30年度実績)

1. 2018年度 ボランティア実績

- 4月 福山六法学園祭(創樹祭)
- 5月 社会福祉法人松風会 松風園祭(加茂町)、御幸町正戸ばらまつり(御幸町)、社会福祉法人ゼノ少年牧場 創立記念運動会
- 6月 新市リーフ祭
- 7月 広島土砂災害で寄付を募る、幼稚園・保育園夏祭り、献血の呼びかけ活動、沼隈特別支援学校夏祭り
- 9月 御幸学区敬老会 各種秋祭り
- 10月 福山平成大学学園祭(災害復興チャリティーバザー)
- 11月 みゆきフェスタ、にこにこ福祉会
- 12月 北部市民フェスティバルに参加(運営スタッフ、バルーン)
- 3月 北部・東部市民フェスティバル、小学校における薬物乱用防止教室への参加
隔月で認知症カフェへの参加
参加学生数 60名

概要:

福祉学科学生らが地域貢献、社会連携としてボランティア活動に参加している。

内容は募金活動、清掃活動、各地域の祭りや手伝い、司会、行事余興の開催、学習支援、立ち直り支援、薬物乱用防止教室、各種啓発活動などさまざまである。

上記に加えて、途上国の子どもたちにワクチンを送付するためペットボトルの蓋回収をしている。また、発展途上国の国々の里親になり、手紙のやり取りを通じながら国際福祉の学びにもつなげている。

2. 平大認知症カフェ

第10回 2018年5月12日（土）参加者数 83人

第11回 2018年7月7日（土）西日本豪雨災害のため開催見送り

第12回 2018年9月22日（土）参加者数 155人（2周年記念で認知症当事者が講演）

第13回 2018年11月17日（土）参加者数 63人

第14回 2019年1月12日（土）参加者数 51人

第15回 2019年3月30日（土）参加者数 64人

概要

・御幸町の自治会などの住民団体と介護事業所や福山市地域包括支援センターの専門職、本学福祉学科教員で平大認知症カフェ連絡協議会を結成し、認知症カフェ（認知症サポーター養成講座を中心においた学ぶカフェ）の実施を2016年年10月から開始した。2ヶ月に1回の開催である。

・大学内で認知症カフェを行う取り組みは全国で2番目である。

・参加者は御幸町住民、他の地域からの一般市民、認知症当事者、介護家族、専門職（保健師、看護師、介護支援専門員、介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士、医師）、学生、教員らである。

・2018年度より毎回内容を変更して学びの時間を提供することにした。第10回は認知症サポーター養成講座、第11回は西日本豪雨災害によって中止、第12回は日本認知症本人ワーキンググループ代表理事藤田和子さん（認知症当事者）の講演、第13回は本学中司登志美教授による講義「認知症に備える」、第14回は本学牛田篤講師による講義「回想法」、第15回は福山市認知症初期集中支援チーム奥田久美子さんによる講義「ユマニチュード」であった。

（3）福祉健康学部 こども学科 社会連携事業について（平成30年度実績）

1. 子育て広場事業

鏡福祉会主催の子育て広場事業を本学で計4回開催し、延べ20名程度の学生と、40組程度の親子の参加があった。参加学生及び学科にとっては子育て広場事業の実践を学ぶ機会となり、同時に地域の親子に対しては、保育士志望学生や学科の存在をアピールする機会となった。

2. リカレント教育事業

神石町高原立保育所との連携により計3回のリカレント教育事業を実施した。神石町高原町の保育士は延べ16名、学生は延べ20名程度の参加があった。学び続ける保育者の姿を身近に感じる機会となった。

3. ライブ・キャンパス事業

9月21日（金）に本学の芝生広場にて野外ピアノコンサートOpen Air “Image”（「イマージュ」）を4年連続で開催した。本学教員（伊藤憲孝准教授）によるピアノ演奏と学生による物語の朗読のコラボレーションに、多くの来場者から「毎年楽しみにしている」「御幸地区に福山平成大学があって良かった」等好評を得ている。（来場者約100名：一般75名、学生20名、高校生5名）

4. ボランティア支援事業

福山市・三原市・三次市の教育委員会・国際ソロプチミスト・NPO 法人・社会福祉法人に延べ 256 名のボランティア学生を派遣した。

5. ふくやま環境フェスタにおける連携

2 月 17 日(日)に福山市リサイクルプラザで開催されたふくやま環境フェスタ（福山市経済環境局環境部環境啓発課担当）に学生 8 名とともに参加し、環境かみしばい、環境絵本などの読み聞かせ、来場した子どもの遊び場の提供、見守り等を担当した。

（４）福祉健康学部 健康スポーツ科学科 社会連携事業について（平成 30 年度実績）

1. 府中 B&G 海洋センターとの協力事業

- ・ 日程および参加者数：①7/18（水）21 名 ②11/21（水）22 名 ③3/20（水）18 名
- ・ 場所：福山平成大学生体機能行動科学分析室
- ・ 担当教員：石橋勇教授 石井智紋助教
- ・ 府中 B&G 海洋センターが主催する B!NGO 元気もりもり体操プログラム受講者の体力測定、2016 年度から継続して実施している。

2. スーパージュニア選手育成プログラム

- ・ 日程：2018 年 5 月 27 日（日）
- ・ 場所：福山平成大学第 2 体育館
- ・ 担当教員：石橋勇教授 石井智紋助教
- ・ 未来のトップアスリートを目指すジュニア選手の運動適正テストの実施。

3. 2018 年度喫煙・飲酒等防止教育

- ・ ①2018 年 6 月 13 日（水）：福山市立東朋中学校、1 年生 138 名（松田広准教授）
- ・ ②2019 年 2 月 18 日（月）：福山市立宜山小学校、5 年生 31 名（石橋勇教授）
- ・ 福山市では、小・中学校で喫煙や飲酒、薬物などの防止教育を行っており、健康スポーツ科学科では、2018 年度は 2 名の教員が講習を実施した。

（５）看護学部 看護学科 社会連携事業について（H30年度実績）

・平成 30 年度については、地域住民向け健康増進の支援に関する公開講座の開催や健康相談を実施した。また、看護職員向けの講座や看護研究の継続研究指導を実施した。その他、地域住民からの要請に応じての健康相談や講演、地域貢献としてボランティア活動を行っており毎年看護学科 1 年生全員が福山バラ祭りに参加している。

平成 30 年度 地域交流センター事業 看護学部

1. 地域住民向け講座 参加人数延べ 156 名

実施日	タイトル	参加者数
6月27日	のぼそう健康寿命！～いつまでも元気にすごすために～	15
7月25日	免疫力アップ（ストレスチェック）	17
8月22日	動脈硬化の予防（血管年齢チェック）	21
9月27日	これからの看護について知ろう！	14
10月20日	健康寿命を伸ばそう～第2弾（認知症予防、転倒予防、口腔ケア）	13
10月24日	「今日からできる！認知症予防と認知症への対策」	17
11月28日	孫育て ～昭和の遊び～	17
12月19日	心の健康づくり	17
平成31年1月23日	回想法で若返り パート2	11
2月2日	非常時に備えて家族で作ろう、身近な日用品で簡単な手作り防災グッズ	14

2. 看護専門職向け事業 参加人数延べ35名

実施日	タイトル	参加者数
6月21日	看護研究Ⅰ 研究の基礎	12
6月28日	看護研究Ⅱ 量的研究の基礎	12
9月20日	看護研究Ⅲ 質的研究の基礎	11

※集中豪雨のため7月11日を9月20日に変更

3. 看護研究1年目継続研究・・・なし

平成30年度 地域住民向け健康相談・講演

実施日・会場	タイトル	参加者数
H30.6.17（日） 井原市県主公民館	講演：自分の健康を考えてみよう 血管年齢測定、血圧測定	31
H30.10.12（金） フジグラン（福山市大型スーパー）	ふれあい健康デー 血圧測定等健康相談の実施	45
H30.11.17（土） H30.11.18（日） 福山市ものづくり交流館	じばさんフェア2018に参加 健康相談、血圧測定の実施	20
H31.2.16（土） 福山市大谷台公民館	講演：非常時に備えて家族で作ろう、 身近な日用品で簡単な手作り防災グッズ	24
H30.3.10（日） 井原市県主公民館	講演：「人生100年時代を見据えた健康づくり」～いつまでも元気ではつらつと～	30

◆ボランティア活動（主なもの）

実施日・会場	タイトル	参加学生数
H30. 5. 19（土）20（日） 福山市内・中央公園	福山バラまつり 2018	9 1 1 年全員
H30. 6. 8（土）9（日） 福山市鞆の浦	福山一鞆の浦トライアスロン 2018	7 0
H30. 6～7 福山市芦田川	福山市環境課 芦田川を守るための清掃活動	3 0
H31. 1. 29（火） 福山ニューキャッスルホテル	福山市経済部産業振興課 シニア向け企業説明会 ・健康測定他、職業適性測定	1 0

(大学連携)

グローバル人材育成事業

びんご圏域連携グローバル人材育成事業 (H28～)

「国際経営における人材の育成と備後企業の取り組み」

本講座は、地元企業の協力のもと、備後地域（広島県東部）にある4大学が連携し、グローバル人材育成をねらいとした、大学生および社会人向け実践的講座です。

本講座で修得した国際経営理論や知識と、海外研修との相乗効果によって、真に国際ビジネスで活躍できる人材を育成し、備後地域に供給することが目的です。

連携大学：福山大学、尾道市立大学、福山平成大学、福山市立大学

受講対象者：学生 | 連携4大学に在籍する学生

一般 | 備後圏域の6市2町(※)に在住もしくは勤務されている方

※広島県福山市、尾道市、三原市、府中市、世羅町、神石高原町、
岡山県笠岡市、井原市

■平成30年度事業実績

講義日程：2018年9月29日(土)～11月24日(土) 毎週土曜日 9時～12時 全15回

講義内容：「国際経営における人材の育成と備後企業の取り組み」というテーマで、経営の国際展開の理論と、実際に海外に事業展開をしている備後地域企業の実務担当者のケーススタディを予定。

定員：大学生50名、社会人20名 程度

受講料：無料

備考：講座終了後、希望者のみ海外研修(12月中旬頃・タイを予定)を行います。

また、大学生については海外研修費の約半額補助もあります。

(※学生優先、希望者多数の場合は抽選)

会場：学校法人福山大学 宮地茂記念館(JR福山駅北口正面)

福山市民参画センター(福山市丸ノ内1丁目2番40号)

6 大学エクステンション連携会議事業

(尾道市立大学、県立広島大学、福山大学、福山平成大学、福山職業能力開発短期大学校、福山市立大学)

6大学エクステンション連携会議は、尾道市立大学、県立広島大学、福山大学、福山職業能力開発短期大学校、福山平成大学、福山市立大学の6大学の協力のもと、各大学が有する知的・人的資源を活用し、備後圏域内の課題解決に向けた研究および取組を推進するとともに、「知」の伝達を行うことにより、相互の発展並びに圏域内の振興に寄与することを目的とし、6大学エクステンション連携講座の開講等を行っています。

(高大連携)

一般社団法人 教育ネットワーク中国 による高大連携事業

(1) 高大連携事業公開授業・公開講座

<高校生に大学・短期大学等の講義を提供>

高大連携事業とは、高校と大学との有機的な接続を図ることを目的に、広島県教育委員会、広島市教育委員会、呉市教育委員会、福山市教育委員会、広島県私立中学高等学校協会、広島大学附属高等学校、広島大学附属福山高等学校そして山口県岩国地区の高等学校と協定を結び、当ネットワーク会員の正規授業科目と高校生のために特別に企画された公開講座を広島県内および山口県岩国地区の高等学校生徒に提供するものです。

■平成30年度事業実績

タイトル	参加者数
サザエさん一家の2025年・2035年の住まい問題を考える	1
教師学入門～小学校教師の7つの顔にチャレンジしてみよう～	1
みんなで楽しく健康づくり～公衆衛生看護学～	2
合計	4

会場：福山平成大学

日程：平成30年10月27日（土）

(2) 中高大連携事業公開講座「大学で何を学ぶか」

- 主催 一般社団法人教育ネットワーク中国
- 後援 庄原市教育委員会・三次市教育委員会・安芸高田市教育委員会
広島県公立高等学校長協会三次支部校長会
庄原市中学校長会・三次市中学校長会・安芸高田市中学校長会

■平成30年度事業実績

日時	会場	タイトル	参加者数
7月13日(金)	三次地区	高齢者を知ろう～認知症のある高齢者の理解～	51
7月14日(土)	安芸高田地区	AIを活用した新製品について考えてみよう	34
7月21日(土)	庄原地区	生活費ピンチ!、に使える社会保障制度	15
合計			100

本学独自の高大連携事業

平成29年度に、島根県・岡山県・広島県の高等学校32校と教育に関する交流協定を新たに締結した。

高大連携協定事業の締結について

福山平成大学は、今年で23年目を迎える比較的歴史の浅い大学ですが、この間、本学は大学教育改革をはじめとした教育界の動向を見定めながら、地元住民から信頼され、地元に対する貢献度の高い大学づくりに取り組んできています。

現在、教育改革の中心的テーマのひとつである大学入学者選抜については、高校教育と大学教育を一体的に改革していく方向が強く打ち出されており、本学も地元の高校の協力を得ながら、出張講義、大学見学、模擬授業、出前授業、進学ガイダンス等により、高校教育と大学教育の連続性を図る取組みを進めています。

これらの取組みを踏まえ、また今年度中にも発表される新しい学習指導要領の方向を見定めながら、さらなる連携の充実を期し、周辺高校との協定書の締結に向けての動きを始めています。

本学と地元高校がともに協力し合って確かな学力と実践力をもった生徒を育て、社会に送り出していくための連携協力の基本的な事項を定め、両者の様々な分野での具体的な協力実践のスムーズな展開を可能とすることを目指しています。

現在、大学入学者選抜の改革については高校教育と大学教育を接続する大学入学者選抜を一体的に改革することで高大接続改革として検討されていますが、このような時期の中、本学では、高校教育で培った力をさらに向上・発展させ社会に送り出すための大学教育としての高大接続、高大連携を進め高校と本学の教育内容を中心にして教育情報の交流をより充実させるため、高大連携協定の締結を進め計画しました。

(連携協力する事項)

- (1) 大学の各種公開講座への受け入れ
- (2) 大学教員による出張講義・模擬授業等
- (3) 教育についての情報交換及び交流
- (4) その他、これらの目的を達成するために相互が必要と認めたこと

以上、連携協力の具体的内容については、両者協議のうえ、決定し、実施する。

平成30年度 出張講義派遣状況

平成30年度には、広島県内の高校のべ21校、広島県外の高校3校、広島県内の中学校1校（参加人数約1,900人）に出向いて、福祉学科12回、こども学科2回、健康スポーツ科学科5回、看護学科6回の計25回出張講義を行いました。

外国大学との連携協定（外国大学での語学研修等）

●語学研修の単位認定について

本学では、夏季休業期間中に行う、協定校 UCR(アメリカ合衆国 カリフォルニア大学リバーサイド校)における集中英語コースにおいて一定以上の成績で修了した者には、「英会話(集中英語研修)」の2単位が認定されます

●平成30年度 留学生数及び海外派遣学生数

(留学生数)

- ・経営学部経営学科 4人（中国4人）

(海外派遣)

- ・びんご圏域連携グローバル人材育成事業に伴う派遣（タイ）
派遣学生数5人（経営学科5人）
- ・グローバル人材育成に伴う研修（ホノルル）※ 台風接近のため中止
派遣予定学生数6人（経営学科6人）
- ・韓国福祉施設視察研修（韓国）
派遣学生数9人（福祉学科9人）
- ・アスレチック・トレーナー研修に伴う派遣（オーストラリア）
派遣学生数14人（健康スポーツ科学科14人）
- ・養護教諭海外事例研究（韓国）
派遣学生数7人（健康スポーツ科学科7人）